



# 會工同窓会報

2016



## 校歌

嶺は秀づる磐梯山  
水は湛うる猪苗代  
これぞ乾坤秀靈の  
精気鍾り成る処

明治三十七春なかば  
礎堅くきずかれて  
星霜ここに幾かえり  
平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け  
鶴を徽章に雄々しくも  
至誠勤勞一すじに  
進む健児の意気高し

峙つ嶺は嶮しくも  
寄せ来る浪は高くとも  
これ奮闘の活舞台  
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬  
作曲 新潟師範学校



## 『同窓会会報発刊にあたって』

同窓会 会長 若狭 春生

(昭38年窯業科卒)

同窓生の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか、今年の夏は高温の日が続き、皆様も体調維持にはご苦労なされたことと思います。地球温暖化現象か、気圧配置の影響か、台風が東日本や北海道を直撃、甚大な被害をもたらし、被災地の皆様は大変な苦労だと思ってお見舞いを申し上げます。我が会津地方は台風や大雨の被害もなく農作物も順調に育ち、米も例年より良いのではと思われます。

さて近畿会工総会が6月11日開催され、例年の如く京都東山の東山閣で開催、約20名の出席者で和やかに近況報告や体調などを話して来年の再会を期してきました。しかし最近近畿地方への就職者が無く、同窓会の新規参加者の中々増やすことが出来ないとのこと、会員の皆様の悩みでした。翌日第111回京都都会津会総会が京都黒谷紫雲石西雲院本堂で開催され、その後戊辰の役で殉難した会津藩士が眠る会津藩士墓参りを、法用が行われ、本年より京都都会津会の会長に近畿会工の大竹会長が就任され、厳粛な中にも盛大に執り行われました。大竹会長には百名を超す会員の会長としてご苦労もあらましようが、会津出身の代表として、さらに我が会津工業高校の先輩として大いにご期待致します。

6月18日東京会工総会が東京上野精養軒で開催、約80

名の参加者でした。翌日19日には東海会工総会の総会が開催、約30名の参加者が一年ぶりの再会を喜び、皆さん校歌・応援歌を歌い楽しい一時を過ごされました。

さて、母校教諭で同窓会会計担当の岩淵浩之先生(54L)が東京美術 日会展で内閣総理大臣賞を受賞されました。6月11日～19日東京都美術館で展示され、当人は勿論母校の名声を高められました、おめでとうございます。同窓会総会は10月15日開催し、約70名の参加者で総会は前年の事業報告・決算承認・事業計画・予算案審議を行い原案通り可決されました。総会の後、記念講演会を開催、今回は母校OBで現在県立二本松工業高校の校長をされている高梨哲夫氏(55M)に『ものづくり教育』とその背景の演題で講演を頂きました。その後懇親会を開催し、先輩後輩の差はあっても同窓生として親交を深めることができました。来年も多くの参加者が集うよう近所の同窓生をお誘い参加くださるようお願い致します。

最後に今年の福島県議会議員選挙で渡部優生氏(55M)が見事当選しました。同窓生よりまた名誉なこととお喜び申し上げます、同窓生皆様のご健勝とご多幸をお祈りし会報発刊の挨拶とさせていただきます。

# 第110回同窓会総会



## 関連記事

### 同窓会事業報告(平成27年10月～平成28年9月)

10月3日 会計監査  
 10月6日 第3回役員会 懇親会  
 10月16日 会工電友会総会  
 10月17日 若松会工会総会  
 10月17日 同窓会総会 講演会  
 10月24～25日 会工祭参加  
 10月31日 福島会工会総会  
 11月1日 2015會工同窓会報発行  
 11月13日 猪苗代会工会総会  
 12月3日 会工祭参加慰労会  
 1月22日 職員クラブ祝賀会  
 1月23日 会津美里会工会総会  
 1月29日 第1回役員会・新年会  
 2月29日 同窓会入会式・表彰式  
 3月1日 会工卒業式  
 3月24日 鶴翔会館管理運営委員会  
 3月28日 会工職員クラブ送別会  
 4月8日 会工入学式  
 4月14日 会工職員クラブ歓迎会  
 4月14日 創立記念講話  
 講師 渡部武弘氏(S39M)



5月21日 郡山会工会総会  
 6月11日 近畿会工会総会  
 6月12日 京都会津会 会津藩土墓前祭  
 6月18日 東京会工会総会  
 6月19日 東海会工会総会  
 6月24日 建友会総会  
 6月25日 会工美修会総会  
 7月2日 機友会総会  
 7月16日 セラ友会総会  
 9月1日 坂下会工会総会  
 9月24日 福島会工会総会  
 9月26日 第2回役員会

平成28年度会津工業高校同窓会総会は平成28年10月15日(土)、第110回総会として「ホテルいづみや」に於いて59名の同総会会員出席のもと開催されました。

開会に先立ち本年ご逝去されました前同窓会本部幹事長 山岸清氏(S41A卒)、前同窓会本部監事 西村一夫氏(S31E卒)、前会工電友会会長 手代木徳雄氏(S28E卒)さらには、この1年で亡くなられました全国の同窓生の皆様のご冥福を祈り黙とうをいたしました。

総会は、事業報告、会計決算報告につづき全議案可決承認されました。

総会終了後、県立二本松工業高校学校長の高梨哲夫氏(S55M卒)による「ものづくり教育と、その背景」の演題で記念講演、記念写真撮影後、懇親会へと進み盛会に終了しました。 幹事長 木村洋一(S50K)

平成28年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自平成27年10月1日～平成28年9月30日現在)

収入総額 6,179,366円  
 支出総額 3,877,666円  
 差引残額 2,301,700円

会工同窓会会計・積立金  
 監査報告について

平成28年10月10日 歳入簿・現金出納簿・預金通帳および  
 支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認  
 めましたので報告いたします。

平成28年10月15日

監事 栗城和夫 (印)  
 監事 小山源昭 (印)  
 監事

福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 若狭 春生 殿

◎収入の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A) 増減	摘要
繰越金	916,417	916,417	0	前年度繰越金
入会金	2,400,000	2,410,000	10,000	新入生(240名×10,000円)+1名(3年生分)
協力金	700,000	597,307	-102,693	会報協力金 (766件分、サトラレ経費936,367円を除く)
総会費	500,000	312,000	-188,000	総会 会費、御祝儀等の収入
雑収入	13,583	1,943,642	1,930,059	定期解約・決算利息等
合計	4,530,000	6,179,366	1,649,366	

◎支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A) 増減	摘要
総会費	650,000	661,699	11,699	総会関係経費
会議費	650,000	686,990	36,990	各支部総会時の御祝儀、役員会補助
旅費	500,000	573,790	73,790	各支部総会時の旅費
事業費	800,000	708,242	-91,758	広告代、各支部への助成
卒業記念費	150,000	153,000	3,000	(校歌、応援歌、会工賛歌) CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	50,000	38,640	-11,360	香典、花環代
消耗品費	40,000	38,559	-1,441	事務用品、その他
印刷費	400,000	371,088	-28,912	会報印刷代(6000部)
通信費	190,000	197,830	7,830	郵送代、電話代
事務費	100,000	57,828	-42,172	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金
予備費	800,000	190,000	-610,000	会工祭展示、入会金返金
合計	4,530,000	3,877,666	-652,334	

※収入総額6,179,366円-支出総額3,877,666円=差引残額2,301,700円は次年度に繰り越し致します。



総会の様子

平成29年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書(案)

(自平成28年10月1日～至平成29年9月30日)

収入総額 5,910,000円  
 支出総額 5,910,000円  
 差引残額 0円

◎収入の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘要
繰越金	2,301,700	916,417	1,385,283	前年度繰越金
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生(240名×10,000円)
協力金	700,000	700,000	0	会報、協力金
総会費	500,000	500,000	0	総会 会費等の収入
雑収入	8,300	13,583	-5,283	決算利息等
合計	5,910,000	4,530,000	1,380,000	

◎支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘要
総会費	650,000	650,000	0	総会関係経費
会議費	650,000	650,000	0	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅費	550,000	500,000	50,000	各支部総会時の旅費
事業費	750,000	800,000	-50,000	広告代、各支部への助成
卒業記念費	150,000	150,000	0	(校歌、応援歌、会工賛歌) CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	50,000	50,000	0	香典、花環代
消耗品費	40,000	40,000	0	事務用品、その他
印刷費	400,000	400,000	0	会報印刷代(6000部)
通信費	190,000	190,000	0	郵送代、電話代
事務費	100,000	100,000	0	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金
予備費	2,180,000	800,000	1,380,000	
合計	5,910,000	4,530,000	1,380,000	

付帯決議 科目間の流用については会長に一任する。

各支部への助成

- 東京…………… 10万
- 近畿…………… 5万
- 東海…………… 5万
- 若松…………… 5万
- 福島…………… 3万
- 日立…………… 2万
- 郡山…………… 3万
- 猪苗代…………… 3万
- 坂下…………… 3万
- いわき…………… 3万
- 西会津…………… 3万
- 湯川…………… 3万
- 会津美里…………… 3万
- 建友会…………… 2万
- 会工電友会…………… 2万
- 機友会…………… 2万
- セラ友会…………… 2万
- 会工美修会…………… 2万

(5) 会工同窓会弔慰規定の改正について

第4条 弔慰の内容 第1項に弔電を加える。

《現 行》

第4条 内 容

弔慰の内容は、次の通りとする。

- (1) 第2条の(1)、(2)のとき 香典 10,000円 花輪  
(2) 第2条の(3)のとき、会長に一任する。

《改 正》

第4条 内 容

弔慰の内容は、次の通りとする。

- (1) 第2条の(1)、(2)のとき 香典 10,000円 花輪 弔電  
(2) 第2条の(3)のとき、会長に一任する。

## 感 謝 状 贈 呈



若狭会長より感謝状を贈呈される小山氏

東海会工会前会長 浅沼 定雄 様  
建友会前会長 小山 源昭 様  
会工電友会前会長 菊地 良三 様

## 記 念 講 演

演 題 「ものづくり教育」と、その背景

講演者 県立二本松工業高校 学校長 高梨 哲夫 氏(昭55M卒)

昭和36年(1961年)猪苗代で生まれる。55歳(10/15現在)

昭和55年3月 福島県立会津工業高校機械科卒業(担任 榎本岩雄先生)

昭和59年3月 千葉大学工学部機械工学科卒業

昭和59年4月 福島県の教員に採用される。平工業高校、小高工業高校、清陵情報高校、川俣高校、福島工業高校で、主に機械科の教員として教鞭をとる。

平成20年4月 教頭昇任。川俣高校、郡山北工業高校、勿来工業高校を歴任する。

平成27年4月 校長昇任。現在、二本松工業高校に勤務。



記念講演をする高梨氏

# 懇親会



学校長あいさつ



PTA会長あいさつ



同窓会会長あいさつ



佐野電友会長による大黒舞



佐野電友会長による大黒舞

佐野電友会長による大黒舞



エール



開式の言葉



## 校長あいさつ「会工の現状」

校長 二瓶 賢一

同窓会会員の皆様には日頃より母校の教育活動にご理解とご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。また二月二十八日には、新たに二百三十二名の卒業生を新入会員として迎えていただき、ありがとうございます。

私は本年四月に当校に着任しました。着任後、当校が地域の方から大変期待されている学校であると感じました。特に商工関係の要職にある方々に当校の卒業生が多数活躍されていたり、また多くの方から会津地域で活躍する人材育成の要請を受けました。地域の期待に応え、社会に貢献できる生徒の育成に努めていきたいと考えます。

私の学校運営ビジョンは、「生徒一人一人の輝かしい未来を応援します」「社会に貢献できる人材の育成」をスローガンにして、「学習意欲の育成」（学ぼうとする心と力を育成します）「職業観の育成」（生徒一人一人の進路実現を目指します）「社会性の育成」（社会で通用する判断力行動力を育成します）「地域との連携推進」（学校・家庭・地域社会との連携を推進します）の四つの目標を掲げました。この目標の実現のためには、教職員は勿論のこと、同窓会会員の皆様の絶大なご支援が必要ですので、どうかよろしく

お願いいたします。

平成二十七年年度の進路状況は就職進学ともに健闘しました。また、今年度の求人も大変多く、これも同窓生諸先輩方の活躍のおかげと考えております。大学進学においても昨年度も国立大学の合格者を出しております。

部活動・各種競技大会への取り組みについても、生徒は先輩方から受け継がれた伝統を確実に継承し、発展させ実績をあげています。（詳細は別頁）

現在、生徒は大変落ち着いて学校生活を送っています。また学校全体に活気があり、資格取得・部活動・進路実現に生徒・保護者・教職員が一丸となって取り組んでいます。これもすべて同窓会会員の皆様に陰で支えられていいるからであり、深く感謝申し上げます。



昭和 35 年の校舎



現在の校舎

# 会工高の歴史のうち、本校創立以前の「徒弟学校」開校に向けて、 会津方部の自治体の当時の活動を「補完版5」に続いて新資料で 述べておきたい パート2

会工100年史編纂委員 江花光泰

福島県会津地方五郡全町村学校組合立による窯業、漆工、染織三科からなる工業学校を設立しようとする動きがあった事は「会工100年史」にもまた前号でも書いた。今号は「会津漆器業職工学校規定案」（会

甲第1168号）が示されていたため「漆器業職工学校」を書くつもりであったのだが、この北会津郡役場文書を何度も読み返して驚いたのはスタート部分で

「会津五郡町村学校組合工業学校創立ニ関スル事務管理ノ総理ハ北会津郡長ニ於テ取扱ヒ其各郡ニ関スル事務ノ管理ハ各郡長ニ於テ取扱ハルベシ 右内訓ス」

明治28年10月6日

福島県知事 原保太郎  
北会津郡長 松本時正殿

の呼びかけ文書の2か月の後には詳細に踏み込んだ「工業学校設置ニ関スル取調草案」32ページが県によって作成されており1500部丈御下付相成たしと福

島県に請求し、会津の町村長と議員に配布し検討してもらっているのだ。

内容は

○学校組合組織順序（工業学校ヲ設置、維持スルタメ明治23年法律第89号明治26年勅令第33号ニヨリ南会津郡全村 北会津郡全町村 耶麻郡全町村 河沼郡全町村 大沼郡全村に学校組合ヲ設置スルコトヲ各町村会ニ於イテ議定シ各町村長を協議委員ニ充ツルコト）

○学校組合協議規程（第1〜11条まであり 明治23年法律第89号明治26年勅令第33号ニヨリ議員定数ヲ決メル 南会津郡議員3人 北会津郡議員6人 耶麻郡議員7人 河沼郡議員4人 大沼郡議員4人 町村公民ニシテ町村会議員ノ被選挙権ヲ有シ其区域内ニ居住スルモノハ当組合町村会議員ノ被選挙権ヲ有ス）

○会津五郡町村名と区分、人口（北会津郡第1区議員3人若松25381人 第2区議員1人湊3400人一箕2435人町北2050人高野1947人

第3区議員1人神指3478人荒井2217人館ノ内1892人川南3743人 第4区議員1人門田4468人大戸2358人東山1859人 大沼郡第1区議員1人高田2686人田川525人赤沢2225人藤川2420人鶴ノ辺2181人新田2283人 第2区議員1人永井野2264人本郷2242人氷玉岡1360人川路1020人旭2342人尾岐1692人東尾岐993人 第3区議員1人中ノ川1552人東川2081人西川892人原谷483人三谷714人川西1661人沼沢1869人 第4区議員1人川口1642名618人大芦1302人野尻1761人横田1044人大瀧657人 耶麻郡第1区議員1人喜多方6653人松山1693人岩月3255人関柴2760人豊川2205人熱塩1688人北山1209人大塩1078人檜原518人 第2区議員1人塩川1610人堂島3236人姥堂1742人駒形2532人熊倉2990人 第3区議員2人山都885人木幡1480人山郷1247人小川872人一ノ木861人早稲

谷306人新郷1706人奥川2748人相川631人朝倉483人慶徳2295人上三宮2120人加納2434人 第4区議員2人千里2044人吾妻1877人山郷1247人小川872人一ノ木861人早稲谷306人新郷1706人奥川2748人相川631人朝倉483人慶徳2295人上三宮2120人加納2434人)さらに南会津郡、河沼郡もあるのだが懐かしい地名がたくさんある。

○工業学校規則草案(第1条)41条まであり 総則に工業二必須ナル学理 実習ヲとし窯業科製陶課陶画課漆器科髹漆課描金課染織科染色課機織課ヲ設ケ修業年限3年、教科目は修身読書算術作文習字理科图画意匠実修、時数、学級編成20人以上30人以下、4月1日ニ始マリ3月31日ニ終ル授業日数八年48週とし入退学、卒業証書、を定めた。授業料は本科別科ともに月30銭5郡外者八月50銭、生徒心得なども定めた)

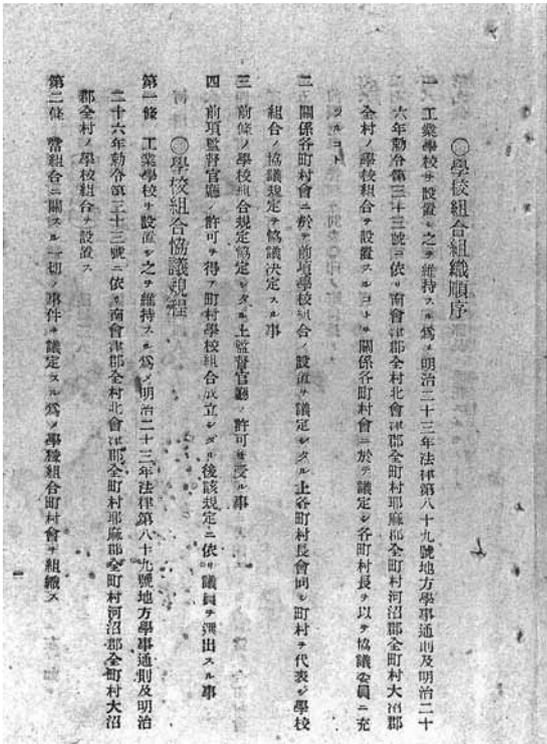
○工業学校経費予算(1か年予算5395円44銭国庫補助2697円72銭町村費負担2697円72銭、教員月俸35円、図画学教員月俸25円、実習助教員月俸15円、小使い月4円図書費機械器具費消耗品費など)  
○工業学校経費予算初年の分(1か年5170円)などである。

この会津五郡町村学校組合「工業学校設置二関スル取調草案」がなぜこんなに早く出来ていたのか。ここで思い当たるのは『会陽雜誌』の吉野龍雄に書かれた明治13年福島県議会で否決された「若松職工学校設置案」である。この時のデータが使われたのではないか？

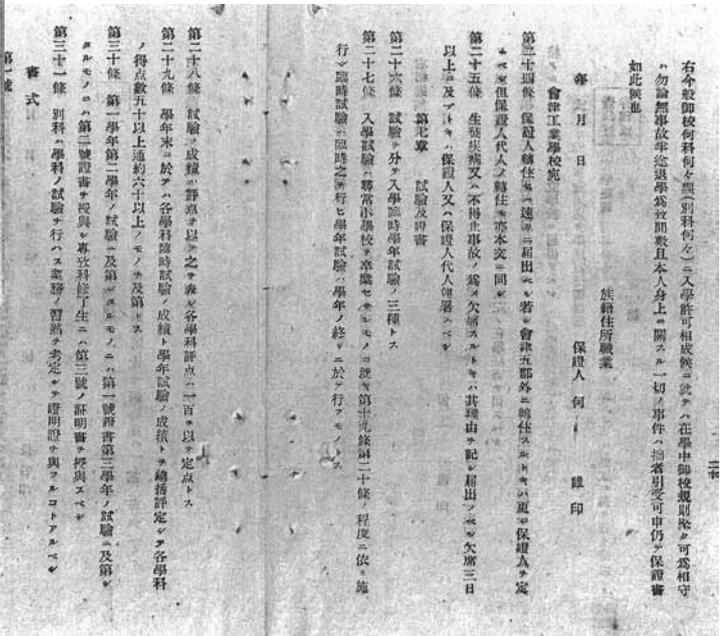
今のところ資料が見つからないため確たる証拠がないのだが、工業学校をつくらうとするくらいだから会津が福島県唯一の産業地であったことは間違いない。



工業学校設置二関スル取調草案表紙(18.5cm×13cm)  
(紙質が劣化でボロボロ)



○學校組合組織順序  
一 工業学校ヲ設置シテ維持スル爲メ明治三十三年法律第八十九號地方學事通則及明治二十六年勅令第三十三號ニ依リ南會津郡全町村北會津郡全町村郡縣部全町村河沼郡全町村大沼郡全町村ノ學校組合ヲ設置スルコトヲ關係各町村會ニ於テ議定シ各町村長ヲ以テ協議委員ニ充テシメ之ヲ組織スルコトヲ定ム  
二 關係各町村會ニ於テ前項學校組合ノ設置ヲ議定シタル止各町村長會同シ町村ヲ代表シ學校組合ノ協議規定ヲ協議決定スル事  
三 前條ノ學校組合規定協定シタルニ上監督官廳ノ許可ヲ受テ之ヲ行フ事  
四 前項監督官廳ノ許可ヲ得テ町村學校組合成立シタル後該規定ニ依リ議員ヲ選出スル事  
○學校組合協議規程  
第一條 工業学校ヲ設置シテ之ヲ維持スル爲メ明治二十三年法律第八十九號地方學事通則及明治二十六年勅令第三十三號ニ依リ南會津郡全町村北會津郡全町村郡縣部全町村河沼郡全町村大沼郡全町村ノ學校組合ヲ設置ス  
第二條 當組合ニ關スル一切ノ事件ヲ議定スル爲メ專任組合町村會ヲ組織ス



右令教習科何科何科何科何科ニ入學許可相成然レモ在學中御禮規程ヲ可爲相守  
勿論無事故卒業進學爲放問敷且本人身上ニ關スル一切ノ事件ハ抑着別可申付仍保留書  
如此候也  
族籍住所職業  
保人 何  
日  
會津工業学校規程  
第二十四條 保人職任ニ任命ニ届出タル者會津五郡外ニ居住スル者ハ其理由ヲ記シ届出タル日  
ニ於テ但保人代人ノ職任亦本文ニ同ス  
第二十五條 生徒在學中ハ不得テ事故ノ爲メ欠席スルコトハ其理由ヲ記シ届出タル日  
以上及下ニ保人又ハ保人代人ノ職任亦本文ニ同ス  
第二十六條 試驗ノ分テ入學時學年試驗ニ三種トス  
第二十七條 入學試驗ニ尋常學級ニ卒業セシモノハ其理由ヲ記シ届出タル日ニ依リ施行  
行ニ臨時試驗ニ臨時ニ行ヒ學年試驗ノ學年ノ終リニ於テ行フモノトス  
第二十八條 試驗ノ成績ハ野原ノ以テ之ヲ各學科評定ニ一百分ヲ定メトス  
第二十九條 學年終リ於テ各學科臨時試驗ノ成績ト學年試驗ノ成績トヲ總括評定シ各學科  
ノ得点數五十以上通科六以上ノモノハ及第トス  
第三十條 第一學年第二學年ノ試驗一及第二學年ノ第一號書第二學年ノ試驗一及第二  
學年ノ第二號書ヲ記與ヒ專攻科修シ生ニハ第三號ノ証明書ヲ授與スベシ  
第三十一條 別科ノ學科ノ試驗ヲ行ハス業務ノ習熟ヲ考定メテ證明書ヲ與ラレトス

# 文武両道

## 東京会工会と私

副幹事長 渡部 雅俊

(昭44M卒)

平成28年度東京会工会総会が、去る6月18日(土曜日)に、二瓶賢一会津工業高校校長、若狭春生同窓会会長他の来賓の皆様を迎え、上野精養軒において約70名の来賓と同窓生が集い開催されました。

来賓祝辞で、二瓶校長先生からは、母校の近況と在校生及び職員の活躍が報告されました。卒業して45年以上過ぎましたが、やはり母校や同窓生の活躍する話を聞けるのは非常に嬉しく思いました。また、若狭会長からは、同窓生初の県会議員誕生と母校ホームページに同窓会サイトが開設したとの報告がありました。東京会工会では、数年前から母校に協力をお願いしまして総会の案内をホームページに載せて頂いていましたが、本年度は、同窓会サイトに載せることが出来ました。

ここで本題に入りますが、私が東京会工会に入会し、すぐに役員としてお手伝いを始めたのが、今から6年前です。それまでは、その様な会があるのは承知していましたが、特に興味も

なく入会は見送っていました。ところが、ある郷土関連の会で同窓の先輩に巡り会い、そこで東京会工会の活動を聞かされると共に入会を勧められました。会津には、年長者の云うことには背いてはなりません。との「仕の掟」がありますので、私の返事は、一言「ハイ 分かりました。」でした。結果、多くの先輩諸氏と交流を持つことが出来ました。

東京会工会は歴史も古く、今年で105周年になります。毎年の恒例行事として、芋煮会、梨狩り、ゴルフ大会等を実施し、参加者は楽しい一時を過ごしています。これは参加しなければ体験することは出来ません。若い同窓生にも是非、参加し体験して欲しいと思います。私は、40年以上大学職員として勤め、3年前に退職をしました。今の学生・生徒は、情報化社会の真っ直中で生活しています。情報を集めることは非常に得意ですが、それとは逆に面倒なことは敬遠しがちです。また、郷土や母校に対する帰属意識も希薄になっていると感じられます。

同窓会には、本部の他に地域の同窓会(東京・若松・郡山・近畿など)、職場の同窓会、科の同窓会、課外活動の同窓会等があります。それぞれの同窓会が、母校のホームページを活用し情報発信を行えば、母校の状況、そして各同窓会の活動や取り組み等に関しても理解が深まり、同窓会にも参加しやすくなると思います。そして、一人でも多くの同窓生が参加すれば、会津工業高校同窓生の絆も更に



平成28年6月18日(土) 上野・精養軒  
福島県立会津工業高等学校同窓会 東京会工会総会

深く確信しています。是非、各同窓会が最新情報の発信を積極的に取り組んでいただけることを願っています。

## 東海会工会

会長 三井 正春

(昭41A卒)

平成28年6月19日(日)に東海会工会定時総会を、名古屋市区の「味並 押切店」で開催しました。

来賓として、本校より二瓶賢一校長、同窓会本部より若狭会長、藤田筆頭副会長、東京会工会より五十嵐常任幹事、近畿会工会より黒川常務理事の御出席をいただき盛況に会を進めることが出来ました。

若狭会長、藤田筆頭副会長の両名は前日、東京会工会の総会を終えられ、昨年同様愛知県刈谷市で一泊されました。夕方から私と五十嵐会計幹事長の4人で時間を忘れて楽しい飲み会でした。

総会では会員19名の参加でした。今期は役員改選がありました。私が新会長に就任いたしました。

した。

私の高校生活は建築科で学び、クラブ活動はバドミントンクラブに所属し、3年生の時には全国大会が熊本市であり団体戦でベスト8までいけたこと、個人戦シングルでは福島県の新人戦で優勝してから県内でナンバーワンを維持したことが、唯一の取り柄です。

愛知県へ就職したきっかけは、大名古屋ビルヂングの写真を当時の建築科の村越科長に見せてもらい、なぜか東京ではなく名古屋だと直感しました。

実は私は、卒業まで就職が決まらず担任の先生に迷惑をかけた生徒でした。名古屋市に出てきたものの、東京オリンピックが終り建築業界は厳しい状況でした。就職活動も実を突かず3ヶ月経ち、縁があつて刈谷市に本社がある角文建設に入社しました。その後建築科の村越科長が毎年1名会社に後輩を送り込んでくれました。現場監督が最高で8名になりました。が、今では、早川幹事長と五十嵐会計幹事長の2人だけで、あとの後輩はそれぞれの事情で会津へ帰郷しました。

刈谷の地で最愛の妻と一男四女に恵まれて、8人の孫に囲まれて、今はまごまごしています。65歳で役員をリタイヤして、

地区の役員、東海県人会の副会長、東海会津会の事務局等と、結構忙しい毎日をご過ごしています。

東海会工会の事務局を6年続けた感想ですが、資料や案内状を送付しますと、住所不定で戻ってくるのが毎年2、3件あります。

今回の総会の通知は84通出して50通、約60%の返事が事務局に届いている現状です。

同じ母校を持った人々の集まりの会です。先輩後輩のわけ隔てなく、話し合い、各行事の交流を通じて、楽しい会になって欲しいと、切に思いながら会長としての責務を務めていきたいと思っています。

東海会工会の発展に期待あれ！

## 近畿会工会 傘寿を前に

渡部 藤雄  
(昭31E卒)

昭和31年電気科の卒業、今年79才、来年は傘寿の節目を迎えるが、まだまだ元気に山登りをしている。一昨年は私の喜寿と家内の古希を記念に富士山に登った。昨年は会津駒ヶ岳、燧岳



至仏山の三山を、3日間で連続踏破してきた。この外に百名山と云われる有名な山では、大雪山、谷川岳、立山、白馬岳、白山、九重山などにも登っている。私が本格的に山登りを始めたのは、第2の定年70才を過ぎてからである。その年齢で苦勞しながら、何故山に登るのか？と問われれば「より高い達成感への挑戦」であろう。

登る辛さ厳しさが大きければ大きい程、山頂に立った時のその感動が大きくなる。そして又その達成感を味わいたくて、次の山に挑戦する。この繰り返しである。

そのためには心身ともに健康でなければならぬ。頭の健康ボケ防止のために何をするか。

体の健康維持のために何をするか。自分の生活パターンに合った、無理のない健康維持の方法を探り出し、それを着実に継続実行することである。私の場合は、朝食後の2時間約1万4千歩のウォーキングである。雑用が多くて月に15日程しか歩けないが、10年以上歩き続けている。

頭の体操には、現在2つの会社でそれぞれ非常勤講師と技術アドバイザーをしているが、これも約10年続けている。地域の電気技術者団体では常任顧問をボランティア活動ではおもちゃの病院、趣味の探鳥会、星空観察、写真や読者投稿などと結構忙しい。

このような生活を続けてきた結果、病院には健康診断以外に行ったことがない。風邪を引いて寝込んだという記憶もない。

健康寿命を伸ばすことによつて、自分自身の人生を豊かにし、楽しく円満な家庭を送る事が出来る。そして医療費の削減など、社会的貢献にも繋がる。これから先も老後を楽しく生きるために、健康寿命を伸ばし、脳力、体力に合った山登りを続けて行きたい。

## 若松会工会 「研修会」を開催

会長 浅田 誠  
(昭43E卒)

本会の年間行事で主要な取り組みでもあります「研修会」を、本年も継続して8月20日(出)に実施する事が出来ました事に對し、参加者並びに本研修・視察をご快諾頂きました『株式会社三義漆器店』様をはじめ関係各位のご協力の賜物と、本紙面をお借りして冒頭に衷心より厚く御礼を申し上げます。

その会社とは、会津若松市門田町漆器団地に先鞭をつけて生産拠点を構えておられる、本校同窓会・修養会「美修会」会長・曾根賢治様が会長職を務めておられます『株式会社三義漆器店』様でありまして、お願いに訪問致しましたところ、ご息の三代目社長も同席して、二つ返事でのご快諾を頂戴し、感謝に堪えない思いであると同時に、主旨ご理解頂いての愛校精神や社会貢献度への向上心を痛感した思いでありました。

今回の「研修会」は、8月20日(出)の14時30分～17時にかけて

単独開催となった昨年より1.5倍の15名の参加者を得て開催しました。

研修先の『株式会社三義漆器店』様は、昭和10年(1935)に曾根会長の先代が個人創業され、同40年(1965)に企業化されて以来、各部門の工場も順次併設すると同時に、最新鋭機器を導入しての量産ラインも確立して、事業拡張と漆器技術の向上に積極的に取り組まれ、会津の伝統漆器産業を世界的グローバル企業への道筋をつけたとの事でありまして、温故知新からの成長戦略の先見性に驚愕したところです。その極めつけは、米国ニューヨークで平成27年(2015)8月16日、19日にかけて開催された世界的なギフトショー「NY NOW」(ニューヨーク・ナウ)、世界各国から約2500社以上が出展し



オープニングミーティングで曾根社長より「会社概況」を拝聴する

# 鶴雲飛翔



た。

総会は、年に1回会員同士の無事を確認する場として、開催を楽しみにしているという多くの声があり、震災の年までは3月に開催していましたが、この年は会場のホテルが、食材の調達ができないなどの理由で、やむなく9月に開催を延期して、以降9月開催が定着しました。

例年ですと出席者は15〜6名というところですが、今回は19名と今までにない多くの出席者で、本部からは若狭会長、木村幹事長、学校を代表して二瓶校長先生のご臨席を賜り盛大な会となりました。

会は二瓶福島会長より多数出席に対する謝意を交えた挨拶に始まり、来賓の若狭本部長より現在會津祭りの真っ最中であること、二瓶校長先生からは母



校の状況などを交えたご挨拶を頂きました。

続いて5分間の議事に入り、事業報告・会計報告・監査報告・事業計画を審議してすべて承認されました。特に事業計画については今回1泊で會津方面へ繰り出し、母校を見学してその変貌を確認することが承認されました。

次に現役員の2年の任期が切れるため改選について審議しましたが全員留年(任)というところで承認されました。議事終了後懇親会に入り、恒例の近況報告。報告は、毎年決めた「テーマ」を織り込んでもらうようにしており、今年は『最近も嬉しかったこと』を報告してもらいました。

次にメインイベントのアトラクション。今年で3年目を迎える細野敏充会員(39E)がマジックショーで一年間の研鑽の成果を披露して、会を盛り上げてくれました。大きな成果は、ワザと(?)失敗してウケをねらうことを心得たことのようにです。

和やかな時はあつという間に過ぎ、来年の再会を誓ってお開きとなりました。

## いわき会工会 高齢者講習を受講して

大川原昌之  
(昭28E卒)

5月上旬、福島県公安委員会から高齢者講習通知書が届きました。これは、自動車運転免許の有効期間満了日に70歳以上になる人が、更新手続き前に受講しなければならないものです。

通常の場合、更新前講習は5年又は3年ですが、高齢者の場合は3年に1回と義務付けられています。更に75歳以上は講習予備検査として認知機能検査を受けなければいけません。

私の場合、3回目の受講になります。最近記憶力に自信が持てなくなり、早めに済ませたいので、自動車教習所に予約を申し込み6月2日(木曜日)9時から受講することになりました。

今更云うのも何ですが、いくら高齢者の事故率が高いからといって、交通違反者並みの3年毎に受講しろとは、ちよつと酷いんじゃないかと愚痴のひとつもいたくなりますが……。

受講者は6名で全員75歳以上の男性、当たり前ですが私を除いて皆さん見るからにお年寄りです。(私は若いつもりです)

先ず最初に、認知機能検査をするための5枚程綴じた用紙を渡され、1枚目に書かれた今日は何月何日何曜日何時ごろですか?の設問に書き込みます。このとき私の後ろの席の人が良くわからないうらしく、講師の指導員が心配そうにしていました。

その後、16枚のイラストを見せこれは乗り物のトラックですとか、鳥のクジャクですとか説明しながら2回繰り返しました。その後1頁目を開くと数字が羅列してあつて講師がストップウォッチを手に、指定した数字1つを斜線で消すように指示します。次に2つの数字を消します。

この繰り返して数分過ぎたら終了し、次の頁を開きます。そこには1から16までの欄があり、16枚のイラストの名前を書きように云われますが、数字を消す作業に集中したせいか、なかなか思い出せません。時間制限のあるなか、それでも何とか14枚の名前を書くことができました。

そして次の頁を開くと、乗り物とか鳥のといったヒントが書か

れた16の欄があり、これも時間制限があるので、何とか全部回答ができて、私の記憶力はまだまだ大丈夫かなと、すこしホッとしました。

最後の頁は白紙で、講師に大きな丸を書くように指示されます。そして中央に点をいれ、時計の文字面のように1から12の数字を書き込みます。それから講師が黒板に書いた時間、例えば9時23分と指定すると、それを長針は長い矢印、短針は短い矢印で記入します。これで約30分の講習予備検査は終了ですが、講習終了後に結果通知書が渡されます。

検査結果は、日時曜日、イラストの解答数、時計を正しく書いたかの3要素を点数で判定します。76点以上は記憶力・判断力に心配なし、49点未満は低く、49点から76点未満は少し低いと判定されます。私の場合96点で心配なしでした。記憶力が低下したと自覚したのは、多分私の脳が勝手に覚える必要がないものを振り分けたのではないかと想像しています。

この後、視野測定、動体視力、夜間視力検査などを行い、ハンドル、アクセル、ブレーキの付いた機械で運転適性検査をしました。その結果同年代との比較では、やや優れている、30〜59

# 至誠勤労

# 初志貫徹

歳との比較では、やや注意でした。

次に、教習所内のコースを同乗した講師の指示に従って運転し、実技検査を受けました。最後に席に戻りビデオによる交通事故の再現などを観賞して、3時間に亘る講習を終りました。

3時間の講習の受講料5850円は高かったのか、安かったのか判りませんが、私にとっては結構楽しいものでした。

## 坂下会工会の近況

会長 五十嵐一夫  
(昭43A卒)

当会は昭和54年に設立され、昨年35周年を迎えました。その後の1年間の活動を紹介します。同窓会の総会は例年9月初旬に開催しています。総会では議事、時節の講演、そして懇親会の三本立てで実施しています。友好同窓会の会津高校と若松商業の地元同窓会及び現在では会津農林高校・坂下高校の同窓会も招待しています。また坂下町長はじめ本会同窓会、学校長職員、坂下地区PTAの会長、湯川・柳津の同窓会もご来賓として迎え、会員相互の親睦を図っています。



年間活動としては、5年連続で同窓生でもある、箱根駅伝の駒沢大学の八木監督を町のマラソン大会への招聘に尽力しました飯塚裕君・五十嵐克博君・北島義喜君・小林雅博君らの同級生のおかげであります、町のマラソン大会が千人規模に盛大に開催され、町の事業に貢献しました。また歓迎会を主催して多くの同窓会員にも出席いただきました。

に我が校が幹事役として開催、栗田實・平野洋治郎・山内秀記・渡部淳会員の活躍で見事団体戦で優勝しました。地区PTAへの総会と懇談会が年2回ありますので、例年出席し学校の生徒の様子・活躍などを聞き取っています。またシュガーキング松江春次翁のお孫様の佐伯圭一郎氏とも親交が続いております。これは学校100周年の時にサイパンを訪問し、松江春次翁の銅像に表敬し、サイパンの知事にも訪問しました、これも坂下同窓会活動の貴重な財産です。同窓会活動により、多くの方とも交流でき、貴重な体験が得られ、同窓会員一人一人の財産にもなります。



## 猪苗代会工会 会工生が走る！走る！

会長 山口 一男  
(昭37A卒)

第60回福島県高等学校駅伝競走大会が、平成27年10月21日に豊かな自然、観光のメッカ猪苗代町で開催され、早速同窓生が

あります、そこは若手会員を育てて活性するよう頑張っていきたいと思います。

## 会津美里会工会 会工祭にて

栗木 俊昭  
(昭45D卒)

昨年数十年ぶりに会工祭を見学してきました。私達世代の会工祭とは様相がまるで違い、時代の流れを痛感したところです。近年でいうならば「アラブの春」という感じで、いろんなアトラクション等、学習及び部活発表の生徒主体の明るい自由な文化祭(会工祭)ように思えました。

我々時代の会工祭は、学習(実習)発表の場という先生方主体の会工祭だったように記憶しています。又、今回から同窓会ブースが設けられて各支部の概要活動内容等が掲示されており、大変参考になりました。師走に入り会津美里支部の事業である支部管内出身新入学生徒を激励する記念品(図書券)贈呈式を母校にて、校長先生はじめ担当の先生立ち会いのもと実施しました。当地区から1割

強の新生がいた事、とても誇りに思います。社会経験・勉学に励み青春を謳歌して下さい。今後の活躍をお祈りいたします。

さて、私達の時代は10科プラス産業科、更上のクラスにデザイン科がありました。その後時代の流れ、経済の変化により科の再編、廃止等が進み科名の無くなった科が数多くあり、その一つが私の電子科です。

科が無くなると母校に対する愛着が薄れるように思いますが、私達は少人数ですが級友が集まり還暦祝いをはじめ同級会を適時実施しております。昨年は東京在住の級友が都内でのクラス会を企画し、級友(美術家)の個展を見学し、楽しい時を過ごしました。たかが3年、されど3年、一生の級友でありたいと思います。

## 湯川会工工会

菅沼 章生  
(昭29C卒)

昭和23年神指中学校入学、そして26年卒業、早や80才、只々驚くばかりである。何をしても生きた証があったのかふしぎだ。

忘れられない事が一つある。

それは事故だ。工業化学卒業のO君が亡くなった事だ。今でも忘れぬ事が出来ない。就職したばかりだったのに、薬液が下半

身にかかり事故死した。自分もおくやみに行つたのですが言葉になりませんでした。今生きて居れば80才のはずです。でも今年も行つてきます。今は工業化学科も無くなり淋しくなりました。又友人であった機械科卒のU君も鬼籍に入ったようです。

母校も女子も入学出来る様になり学校も生徒諸君も楽しく明るく勉学に励んで居る事と思つて居ます。自分達の頃は歩行登校が殆んであった様だが今は親達の送迎が当然の様だが頑張る子達も多くなると思われます。

これからは暑さも増してくるので生徒諸君の健康に充分注意して欲しいと思います。自分達は老人となり何も出来なくなつてきたが、今の生徒達が必ず次世代の旗頭となつて、母校会津工業高校の為頑張つて下さる事を祈念して筆を止めます。

## 電友会 史跡探訪「河東地区の文化財を訪ねる」

事務局長 白井 達夫  
(昭43E卒)

電友会では毎年の恒例行事として、春には「史跡探訪」秋には「施設見学会」を実施しています。平成28年春は、5月23日に「河東地区の文化財を訪ねる」をテーマに、昭和30年電気科卒

で会津史談会副会長の大川原史郎氏の案内で開催しました。以下、大川原氏から提供の資料を参考に探訪個所の概要を紹介させていただきますので、興味のある方は訪れてみては如何でしょうか。

〈藤倉二階堂(延命地藏堂)〉

所在地 会津若松市河東町倉橋子藤倉160-2

延命寺(真言宗豊山派)は徳一によつて建立されたと伝えられており、境内の延命地藏堂は室町中期の建立で、主屋が桁行・梁間共に3間、裳階(もし)が桁行・梁間共に5間の寄棟造りの禅宗様建築で、屋根が重層になっているため一見、二階建てを思わせる外観から藤倉二階堂の名で呼ばれている。造

形の美しい建造物ということでも明治36年特別保護建造物に指定され、現在は国の重要文化財に指定されている。内部には禅宗様の須弥壇(しゅみだん)が置かれ、厨子には台座から左足を踏み下げ、右足を立ち膝にし、それに右腕の肘を乗せ、頬に手を当てている「半跏趺座(はんかふざ)延命地藏尊」が祀られている。

〈伝皆鶴姫墓所〉

藤倉二階堂に近い藤倉集落の東に、源義経と皆鶴姫の悲恋を伝える碑がある。(気仙沼の観音寺にも皆鶴姫の伝説が伝わっていると言ふ)

平家打倒を願う義経は、鬼一法眼の兵法秘伝書『六韜(りくとう)三略』を見せてくれるよう頼むが許されず、養女の皆鶴姫を通して密かに秘伝書を書き写したと云う。その後、平氏の追求が厳しくなり京都を離れ平泉へ。それを知った皆鶴姫は義経との子・帽子丸を抱き腰元や従僕を連れ義経を追い此の地まで着いた。義経の行方は解らず思い余つて帽子丸と共に沼に身を投げたが助けられ、帽子丸だけは溺死し、この沼は帽子沼と名付けられた。帽子沼・神指町



柳原菅原神社の東にあった沼。現在沼は残っていない。

藤倉村に辿りついた時には皆鶴姫は病に臥せ、村人たちの手厚い看護により春を迎えた。

難波の池に遊びに行つた時、水面に映るやつれた自分の姿を見て驚き、池に身を投げてしまった。18歳であったと言ふ。従僕たちにより池の畔に墓が建てられた。難波池・なにわのいけ、僅かながら残る。

〈八葉寺〉

所在地 会津若松市河東町広野字冬木沢208

八葉寺縁起によると空也上人が京を発つたのが康保2年(965)霜月で、会津には翌年の初夏に入ったと言われる。北の方角に紫雲のたなびくを見て辿りついた所が冬木沢であった。この地に堂宇を建て仏像を安置

# 一意専心

# 威風堂々

し、手ずから独鈷杆（どっこしよ）を持って井戸を掘った。すると忽然と清水が湧き出し、その流末には八葉の白蓮が生じた。上人は驚きかつ悦び、寺山号を如來山八葉寺と名付け、ここを終生の布教の地と定めた。時に上人64歳であった。

境内は、阿弥陀堂（正面）国重要文化財（文禄年間再建）3間4面・屋根（入母屋・茅葺）を本堂とし、右に十王堂、左に空也上人像を安置する空也堂、奥に空也上人墓地の奥之院（奥）。寺名の由来となった、かつて八葉の蓮があったとされる池「關伽井（あかい）」がある。

会津地方では盆前の8月1日から7日までの期間、八葉寺に死者の供養のために参詣する「冬木沢参り」の習俗がある。家族が死亡すると死者の初盆前に家族が故人の歯、骨、爪、毛髪などの一部を持ち寄り、木製の小型納骨塔婆や納骨器に納め、八葉寺に奉納する。この「冬木沢参り」習俗で文禄年間から現在までの約15000点の小型納骨塔婆が納骨堂に収納されている（国重要有形民俗文化財指定）。また、「空也念仏踊り」（県重要無形民俗文化財指定）が毎年8月5日に空也堂前で奉納されている。

当日は、新緑のもと好天に恵

まれ参加者14名が見聞を深めるとともに、心地よい汗を流しました。前記の史跡に加え「曆応（りやくおう）の碑」や「藤倉館」を巡った約2時間の史跡探訪後は昼食会で交流を深めました。毎回、充実した資料提供および案内役の大川原さんに御礼申し上げます、電友会行事の報告とします。

## セラ友会

梨子本 傑  
(昭41K卒)

### ●定期総会開催

平成28年7月16日 会津若松市内ホテルいづみみやで設立17周年記念総会を開き、本年度の事業などを決めた。

議事ではこのほか、本部同窓会や母校のセラミック化学科への支援協力、会報誌・2017の発行、各種研修会を実施することなどを盛り込んだ平成28年度の事業計画を決めた。役員では人事異動により事務局2名が一部変更になり承認され新体制で運営されます。

総会終了後南興会会員・語り



べの菅野榮子氏による講演会「松江豊寿・春次兄弟 望郷の賛歌」が開かれた。この講演会では会員、来賓ほか一般市民も興味深く聞き入っておりました。懇親会には二瓶賢一学校長、本部同窓会より吉田一榮顧問、若狭春生会長、各修養会会長、元南興会会員で水野銀蔵様の家族・県議会議員水野さち子様、松江春次孫・佐伯圭一郎様、会津本郷焼事業協同組合副理事長・西田理人様、元セラミック化学科主任・佐藤正道先生をお招きし、総勢44名の懇親会になり楽しく和やかに行われた。



秋のミニ研修会 岩月登り窯

### ●昨年度の事業

#### ○会報2016の発行

6月に会報2016第16号を発行した。今年設立17周年を迎えたことを記念して会報を発行した。A4版24ページで一年間の活動記録や会員からの寄稿、活躍するOBや同校セラミック化学科の活動・進路状況さらに同窓会に関係する企業・会員からの広告47件なども掲載。400部を発行し総会案内とともに会員らに配布する。

#### ○秋のミニ研修

10月に喜多方煉瓦館を訪れ、登り窯を見学した。このほか、喜多方プラザで開催された「越後と会津を語る会」にも参加した。尚、見学に際し喜多方在住

の佐藤友信（昭和34年卒）氏に案内同行して頂き有意義な研修会でした。

#### ○春のミニ研修

恒例になった4月の桜開花時に開催。吉田一榮名誉顧問・横浜在住の佐々木賢顧問も参加され総勢17名で会津美里町の名所旧跡と米沢地内にある木村かわら製造所所有の登り窯を見て回り有意義な一日を過ごし親睦を深めることができました。

#### ○入会式

2月29日に母校のセラミック化学科の3年生クラスにて同科になって5回目の卒業生となった卒業生39名が入会した。

渡部会長が歓迎のあいさつを述べ、新入会員代表鈴木奨くんに会長賞、全員に記念品を贈った。

#### ○新年会

2月初旬、ホテルいづみみやにて役員会を開催。終了後新年会を開き交流を深めた。20名が出席。

今回は、タウン誌「下野街道」編集者・水野俊彦（昭和39卒）氏への編集慰労と松江春次の孫・佐伯圭一郎氏と南興会会員・菅野榮子様を招待し、和やかに抱負などをかたりあいながら交流を深めた。

## 建友会 わが母校を語る

小山 源昭  
(昭38 A卒)

楽しかった青春時代を過ごした人生の原点ともいえる会津工業を卒業してから早54年となりました。子供のころから図画工作、すなわち「ものづくり」が大好きでした。中学生のとき、一人でS.Lに乗り、安積永盛の日大グラウンドで開催された、県手造り模型飛行機大会で1等賞になり、賞品でもらった「琢磨(ほうろう) 焼きの洗面器」を懐かしく思い出しました。

そのようなことから会津工業建築科を選択したことは正解であったし、卒業してからも誇りを持ち続けております。高校時代の一般教科は怠けてばかりで並みの生徒でした。反面、専門科目、特に設計製図が大好きで、かなり勉強し、一目(いちもく)おかれてた思い出があります。市内のゼネコンに就職して2年目ごろ、会津高校の大半が焼失し、その復旧工事で20歳の若さで鉄筋コンクリート造3階建85メートルの南校舎の現場監督を体験したことに自信と誇りを持ちました。その後たくさんの

建築現場を体験し、母校の正面校舎も担当しました。その後、ゼネコンを退社し、所帯をもち、建築設計の道に進み、官民とわず多くの建築設計に関わりました。

一方では、会津若松の景観・歴史建築物・まちづくり事業にも関わり、大袈裟に申すなら、地域の現代建築と社会的まちづくりにおいて大きく貢献している一人として評価されていることは会工OBの誇りであり、幸せなことでもあります。

ここで「わが母校を語る」について残念に思っていることがあります。我々の時代はT・L・K・C・M・E・Aの7科がありました。今はT・L・Cがなくなりました。

窯業科・染織科とかがなくなるにはそれなりの訳はあったにせよ、会津ならではの歴史ある伝統工芸・産業を支えた技術の継承を、今改めて再考してみませんかと強く感じます。高校教育の進化はめまぐるしく、我々の時代とは大きく変わりました。とは、社会の進化と同調であり。何につけ、I・T情報科を組み入れました今の日本の教育方針はまちがっていません

が、首をかしげる部分もあります。会津工業の生徒は、I・T情報科に染まった代わりばえのないお利口さんばかりの学校ではなく、モノづくりの技術校として名実とも評価されていることは大事なことです。

しかし、そこで今一步、モノづくりの魂をこめた教育方針を考えてみることもありではないでしょうか。

T・L・Cの復活などは到底無理であります。教育の二環で、マイスター制とか資格制はすばらしい取り組みで更に進化すると思われま。

建築とは、発注者・設計者・施工者の関係をベースとし、技能を競う専門職(木工事・内装・左官・塗装他)と電気設備・機械設備・外構と多くの職種を含めた集合体がかまぐまぐ連携し、立派に竣工を迎える訳です。大学又は専門学校に進む生徒さんも多くなりませんが、すぐに社会人を希望する生徒さんと、選択はそれぞれです。限られた3年間の学校生活により、その選択肢のなかで自分は、もつと建築の専門職を究めたい生徒、もつとモノづくりの技能を究めたい生徒もおると思っています。

## 機友会

森田 哲郎  
(昭55 M卒)

機械科・精密機械科の卒業した同窓生で構成し運営をしている「機友会」の総会は、7月2日午後5時から日本料理「生粹」で開催されました。

幹事長菊地登貴雄氏を進行役として、渡部重三副会長の開会の言葉に続き、栗城和夫会長が「会員の1年間の活動に感謝の

その熱い思いがあるのなら、その受け皿として我々OBは今以上に連携と交流をはかり、その想いを遂げるための支援こそがOBとしての務めではないでしょうか。このことはK・M・E科も同じと言えらると思えます。終りに、私は今年で6回目の申年男となりました。今のところ、生まれてから一度も大怪我、大病、入院の経験がなく、すこぶる健康でパワー有るつもりです。個性と根性ある会工生徒諸君の育成のためにも、私自身、心と身体の元気を続けようと思つてます。



意を述べ、今後も会員増員を図って行こう」とあいさつをされました。次に事業・会計報告がなされ承認され、続いて28年度事業計画等が審議され承認されました。

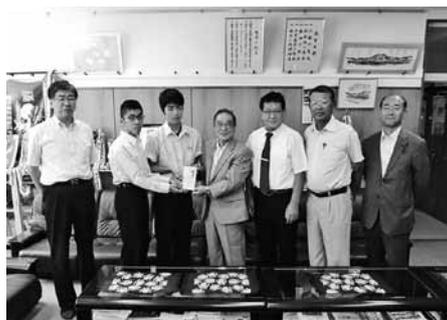
懇親会では、若狭春生同窓会長・高橋進一教頭先生のあいさつをいただき、また機械科科長代理の茂木利幸先生からは機械科の現況等などの説明を聞きました。

今年も、7月20日の終業式の後、校長室において機械研修部の成田崇彰カーポート班部長・荒井俊口ポット班部長に激励金の贈

# 温故知新

# 乾坤秀靈

呈が行われました。本年で12年間連続して金5万円を贈呈しています。



激励金贈呈

## 美修会

会長 曾根 賢治  
(昭36L卒)

美修会の現状は、年々会員が減少しております。私も今年から後期高齢者となり、今期が最後の会長と思っている所です。毎年卒業式があり、卒業生が同窓会に入会するたびにガツカリします。我がし科がないので入会する生徒がいりからです。毎年の総会が来るたび寂しい気持ちです。それでも、美修会を担当してくれている岩淵浩之先生が居られるので助かって居る

現状であります。先生がお辞めになられたら、美修会が終わるかと思うと寂しい限りです。

このような現状の中、我が美修会に明るい光が灯されたので、それは、岩淵先生が日工会展で内閣総理大臣賞を受賞した事です。本当におめでとうございませう。感激でいっぱいです。

ふと思えば数年前にも、もう一人居たのです。儀同哲夫君です。現在、科がない漆工科から2人の内閣総理大臣賞受賞者が居るのです。

会工同窓会の中でほかにあるかと、私一人が威張っています。私の暗い心の中に、光を与えてくれてありがとう！

これからも、精進ください。会工同窓会：ばんざーい！

## 昭和電工(株) 東長原会工会

支部長 大塚裕一郎  
(平3C卒)

会工同窓会東長原支部は、昭和電工(株)東長原事業所の敷地内に立地する企業6社で働く会津工業高校の卒業生で組織されお

り、会員相互の親睦を図ることを主目的としています。

今年も平成27年度の卒業生を新たに会員として迎えることができました。

会員には昭和42年度電気課卒業の大先輩も在籍頂いており、今でも事業所の電気部門の第一線で活躍いただいています。

毎年春に開催する支部総会では、活発な質疑がなされ会の活性化が図られます。

総会終了後の懇親会での企業や年齢の垣根を越えてお互いの近況報告や情報交換行い親睦を深めました。

## 三菱伸銅(株) 鶴友会

会長 高橋 誠  
(昭60E卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、三菱伸銅株式会社若松

製作所会津工業高校OB会「鶴友会(かくゆうかい)」の近況を報告いたします。

現在、鶴友会には108名の会員が在籍しております。15年くらい前は、130名以上の会員数でしたが、定年退職者数が新入社員数上まっていたので、年々自然減してしまいました。会員の職種は、製作所内の技術職や製造職場オペレーターです。中でも製造の約3人に1人は鶴友会の会員です。

鶴友会の恒例行事として、年に2回の懇親会を開催しております。それは、5月連休に実施する「花見会及び新入会員歓迎会」と年末に行う「総会」です。全て大型連休に実施して



いる訳は、製造職場は、土日関係無し24時間連続操業であるため、大型連休にしか会員一同が集まる事が出来ないためです。20年位前までは、土日は製造職場も休みであったため、土日を利用して、2年に1度は1泊2日の旅行を行っていました。

その後、製造職場の勤務体系変更があつても、土日を利用しての旅行も継続的に行っていたのですが、製造職場に鶴友会の会員が多く在籍しているため、旅行参加者も激減し、10年ほど前から親睦旅行は行っておりませんでした。

今年、会員から旅行の要望が多く寄せられたので、8月連休の前半に「北海道一泊二日の旅行」を企画しました。工程としては、仙台空港から新千歳空港までは飛行機を使い、北海道内は貸切バスにて移動です。1日目は小樽、北一ガラス館、余市のニッカウキスキー工場、札幌での夕食はジンギスカンのバイキング、2日目は、「少年よ、大志を抱け」で有名なクラーク博士像がある札幌羊が丘展望台などです。

この旅行には、当初38名の参加でしたが、6月末の最終確認では、14名に激減してしまいました。少人数となってしまいましたが、それでも久々の旅行で

す。会員の親睦を兼ね、皆で北海道旅行を楽しんで来ようと思つています。

## 三菱製鋼(株) 会工会

野邊 良浩 (昭50卒)

いつも大変お世話になってい

ます。小生、6月をもって定年退職により会長職を返上しました。

現在会員17名です。季節ごとに懇親会を行っています。

尚新会長は大竹純一と申しま

す。(昭56C卒) 今後、三菱製鋼会工会宜しく

## 東京電力パワーグリッド(株)猪苗代電力所会工会

横田 由 (平16年E卒)

福島第一原子力発電所の事故により、福島県内及び社会の皆さまに大変ご迷惑をお掛けしておりますことを、お詫び申し上げ



平成27年度 会工会総会 平成27年11月22日 於 萬花楼

げます。

東京電力猪苗代電力所会工会員は、福島県内の電力施設の保守点検を行っており、震災以降は、第一線で設備の復旧業務をはじめ、ご被災者の方々への賠償業務、復興支援業務等に取り組んでおります。

浜通り地区においては、避難先の仮設事務所で勤務していましたが、本年の3月より震災以前の勤務地である富岡町の事務所へ帰還することが出来ました。

私自身も震災以前より、浜通り地区で勤務しており、設備復旧や復興支援業務に取り組んでおりましたが、昨年度は若手社員を中心とした「東京電力の状況を福島県内の皆さまへ知って頂く」という活動の中で、母校である会津工業高校への訪問をさせて頂きました。

電力事業も自由化の流れの中でこの春、弊社は分社化を行い、東京電力パワーグリッド(株)として新たなスタートを切りました。

このような中、会工会の活動につきましても、除々に再開しており、昨年度は総会等を開催する事が出来、幹事として嬉しく思っております。

今後につきましても、地域の皆さまのご理解を頂きながら、東京電力パワーグリッド会工会としての活動を積極的に行い、機会を捉えて母校へ訪問させて頂ければと思っております。

### 【役員】

- 会長 福井 隆夫(S54E卒)
- 副会長 佐藤 龍一(S55D卒)
- 赤城 哲郎(S58D卒)
- 幹事 川俣 将仁(H5D卒)
- 渡部 博之(H9E卒)
- 横田 由(H16E卒)

【会員数】 50名 (H28・4現在)

## OB会

### 会工元気会

梨子本 傑 (昭41K卒)

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で、今年は10月20日(第3木曜日)に開催いたしました。会場は会津若松市内の迎賓館『寿し万』にて、遠くは二本松市・郡山市より総勢49名の出席のもと開催されました。

総会には本田毅会長のあいさつ後、議事にはいり事業報告や会計報告、次年度の事業・予算案等承認されました。総会終了後懇親会の席上、新会員5名の紹介がなされました。母校からは来賓として二瓶賢一校長に出席していただき和やかな雰囲気



もとおこなわれました。

来年度は、この会も記念の第20回になります。開催日は平成29年10月の第3木曜日に決定いたしましたので今から予定に入れてほしいと思います。皆さんとまた元気で再会することを楽しみに散会いたしました。

## クラス会

### 平成7年セラミックス科卒クラス会

相木 隆志 (平7F卒)

5年前の東日本大震災時の10

# 根性一途

# 百戦錬磨

## 寄稿

月より定期的に10人前後で開催。会場は会津若松市内でクラス仲間の店「丑若丸」で行っている。

今も、毎年開催しておりますが、年々参加人数が少なくなっております。

### 會工46電子会

幹事 福土寺 一元 (昭47D卒)

### 窯業科卒 41Kクラス会

片岡 和夫 (昭41K卒)

本会は、昭和46年度電子科卒業生の同級会組織です。30数年の時を越えて平成18年から隔年開催を原則として会を復活させました。

平成28年9月24日鬼怒川温泉ホテル鬼怒川御苑にて『會工46電子会 復活第5回同級会』を開催致しました。

参加者は17名。恩師田辺先生は体調不安の為、残念ながら欠席となりました。

本会の前に、有志(4名)により鬼怒川高原カントリークラブでゴルフを楽しみました。

同級会の次第は以下の通りです。

- 1、幹事挨拶 影山良智(会津若松市在住)
  - 2、故人への黙祷
  - 3、会長 室井利夫(東京世田谷区在住)の開会の挨拶と乾杯
  - 4、各人からの近況報告
- 今年、会津坂下町議員となった渡部正司も30分遅れで合流し、議員活動等の近況報告により宴を盛り上げてくれました。

各人の近況報告は、職場をすでに引退した者、今後も数年は頑張る予定の者、会社経営に携わっておる者等、立場は様々でありながらも、やはり話題は家族・体調・年金等のごとが多く語られました。

和やかな宴の中に突然「頑張れ応援歌」の合唱あり、いまだ豪傑に酒を飲み干す者あり、これまでの生き様を語り合う中から「元氣」を貰いあい、旧交を温めることができました。

次回は、2年後に会津で平日開催とすることを確認し閉会となりました。

### 二人の技術者

旧職員・日本科学史学会員、  
会津史学会員・産業者古学会員等

小関 栄助

会津は武士の町・白虎隊の町として知られた観光地である。ところが、明治維新以降、民間で活躍した方については余り知られていない。建築士の江川三郎八と毛織物技術者大竹多氣の二人について述べる。

江川の家は今の錦町福泉寺の南側にあり、5石取りの武士である家柄。当時、若松下二之町に有る大工・山岸喜右衛門に弟子入りして、大工になった。明治35年、福島県立工業学校を設計、その外にも福島女学校(今の福島橘高校)、磐城中学校、相馬中学校の設計に携わった。会工創立80年の時、取り壊した旧講堂の格天井に彼の作品の特徴が出ていた。7、8年前に焼失した、会津高田の伊佐須美神社を明治32、3にかけて再建に携わった。江川の建物特徴は岡山県の当時の学校を始めとする公共施設に独特な意匠を施した設計で、江川式建築として産業者古学会の会員から発表があった。私は、会津に彼の作品があ

### 窯業科卒 20Kクラス会

吉田 一榮 (昭20K卒)



H18年大洗ホテルで開催した時の思い出の写真です



る筈と云われて調査を行い、昨年の11月の学会で発表。

一方、大竹多気は父の赴任先の北海道で文久年間に生まれた。当時会津藩はオホーツク沿岸の警備を任せられ、その物資の集積地が今の北斗市にあった。多気は養子に入り大竹となったが、元は松田である。実父の家は、御薬園の長屋門（焼失）から2軒隣にあった、大変優秀で、農商務省管轄工部大学校（現東京大学工学部）に入学。

この学校は入学者の半数が成績不良で中途退学。多気は体が弱く欠席が多かったが、それでも卒業はできた。

米沢高等工業学校初代校長（現山形大学工学部）。千住製絨所長（日本の最初の毛織物工場）・文部省職業教育の調査官、特許庁技師・東京大学講師・東京高等工業学校（現東京工業大学）の教授を歴任。最後に桐生高等染織学校初代校長現役（現群馬大学）で死去。この事を日本科学史学会で発表した。

## 地元の納豆

元祖白糸本舗 代表取締役

西村 文享

（昭51K卒）

納豆は煮た大豆と納豆菌の接触で生まれた発酵食品です。納豆菌のすまいは稲わらの中ですが、だからお米と納豆のコンビは「最強」なのです。納豆菌を他の豆類に接触・発酵させても、うまく糸をひきません。納豆菌の繁殖に必要なタンパク質は大豆に多く含まれているからです。

現在、最も生産量の多い大豆の産地は南北アメリカ大陸ですが、栽培が始まったのはアジアに比べてずっと遅く、20世紀になってからです。大豆栽培の起源は5千年前の中国で、日本には弥生時代初期に入ってきたとされています。弥生時代の竪穴住居には暖炉があり、大豆を煮た時、床に敷き詰めた稲わらに附着し、糸を引いたのが納豆の始まりとされています（諸説あり）。

納豆工場の見学に来た子どもたちが一番驚くのは、工場内では全く納豆の糸が見当たらないことです。質問されることもありません。「あの糸引き納豆をど

うやってあんなにきれいに容器に入れるのですか?」。蒸し煮した大豆に納豆菌を接種し、すぐに容器に盛り込み、それから発酵させるのです。

納豆の一世帯当たりの年間購入額で昨年、福島市が全国1位に返り咲きました。福島県は全国でも納豆消費が多いとされています。しかし、100%手放しで喜べない事情もあります。そもそも納豆といえば水戸が有名です。その理由をちよつと説明します。

明治22年の鉄道・水戸駅開業から話がスタートします。その翌年、笹沼五郎商店さんが水戸駅前の広場で乗降客を相手に納豆を土産品として販売し、その後、売り子を使い、駅ホームでも本格的に売られるようになりました。水戸といえば偕楽園。大勢の観光客が訪れ、鉄道網の普及とともに全国に土産品の大豆納豆が広まっていったのです。

もう一つ、重要な要素がありました。そのころ、全国の納豆は大粒大豆や中粒大豆を使ったものが主流でした。そんな中、茨城県、栃木県には地元で取れる小粒品種の「地塚」と呼ばれる大豆があり、それを売り出し



園児と楽しく納豆を作る

たことが評判になりました。まさに地産地消と販売戦略のお手本です。

福島県でも30年以上前までは、地元業者の販売がほとんどでしたが、スーパーの大型店化・広域展開、さらに物流網、冷蔵技術などで変化していきました。

納豆の三種の神器といわれる「小粒、たれ付き、三パック」のタイプを茨城県、栃木県の業者がいち早く販売し、それらが大量に運ばれてきました。特に福島県は両県と隣り合わせの日帰りコースであり、さらに宮城、青森をはじめ東北他県などからも納豆が流入し大型スーパーから徐々に市場、小売店などにも広がり、競争が激化し、販売価格は全国と比べても安価に

なっていました。現在の納豆売り場は茨城県、栃木県や全国の大手企業が乱立し、地元福島県の納豆は見つけにくい状況です。

30年前、福島県の納豆製造業者は60社近くありましたが、現在は3分の1ほどになってしまいました。これからはおいしい地元の納豆屋にも注目を願います。

## 入学のあの頃

鈴木 忠三

（昭26K卒）

私が会津工業に入学したのは、戦争も敗色が濃くなってきた、昭和20年の4月です。

希望に燃え入学したのに、授業はそつちのけ、毎日校庭を掘り返し、畑・田んぼ作り、更に防空壕掘りに汗を流し、更にその壕の坑木にするため、河東の広田の山の中から、松在六尺物に「クサビ」を打ち込み、それにロープをつけ、学校まで道路を引きずって運んだこと、何軒あったのか、材木がかなりすり減っていたことを鮮明に覚えています。またその壕の屋根の部分の土止めにするため、背あぶり山から柴木を切り出し、学校まで背負ってきたこと。そして

# 臥薪嘗胆

# 不撓不屈

また冬期のストーブ燃料の確保のため、門田町面川の沢の部落から国道まで薪の背負い出しをさせられました。これが、これも学校から往復徒歩であり実に汗と涙の連続でした。

当時の校舎の中は、講堂も体操場も、床板がはがされ、戦争用兵器の製造のためのさまざまな機械が設置されており私達が運動する。或は遊ぶと云ったような用途には全く使用されない状態でした。

こうした中で20年8月に終戦となり、戦時色も徐々に払拭され、学業はもちろん校庭では、テニス、野球も復活され、楽しい日々を過ごすことができるようになりまし。私もいろいろなスポーツを楽しみながらも、この時に台頭してきた、新スポーツ「バドミントン」に熱中し、同好者を募り、バドミントン部を創設し、私が初代部長に推挙され、皆と共に日夜練習に励みました。その甲斐あってか、初めての県総体で、私と小林君の複が優勝、単は2人とも第3位でしたが、県代表となり、第5回の名古屋国体に参加、善戦の結果ベスト8位に入賞しました。今思えば、まるで夢のような話ですが、このことを機にバドミ

## 発展への功績たたえる

### 指導者ら表彰

福島民報提供



6日(郡山市の郡山神社、特別授賞式)に、特別授賞式を受け、表彰状を授けらる鈴木さん(左)と、表彰状を受けらる鈴木さん(右)。

鈴木 忠三(昭26K卒)

ントン大会で会津工業の名を

せて、今日に至っております。ラケットを振り回し、とてもお年寄りとは思はれません。とお世辞を云はれながら昔を懐かしんでおります。

## 母校とのかかわり

手代木 崇 (平5K卒)

卒業後、一般企業に就職しましたが、15年前に帰郷し家業を継ぐ決断をしました。

私の家業は江戸時代から続く会津本郷焼の窯元を営んでおります。そんなわけでセラミック技術を本校にて学び、家業に役立てています。

10年ほど前、恩師でもある佐藤

藤正道先生から「ろくろ検定の外部講師をやらなさいか」とお声を掛けていただき、本校のためになるならと思い、喜んでお受けいたしました。

ろくろ検定とは、まず全国工業高校の主催で行われる「陶芸技能検定」というものがあります。これはろくろ技術を初級、中級、上級に分け検定するもので8月に実施されます。

また、会津本郷焼組合と県工業部会の主催で行われる「ろくろ技能検定」というものもあり、ろくろの技術と学科のテストを行う検定で1月に開催されます。お受けしたとき私は陶芸を始めたばかりで、まだまだ未熟でしたが、やったことのない高校生に教えるくらい大丈夫だろうと軽く考えていました。しかし、自分でやるのと教えるのでは全然違うことがわかりました。生徒に「こうやるんだよ。」とやって見せても生徒は同じようには出来ません。指の当てる方、手の角度、力の入れ具合など細かなところを自分が理解していなければ教えられるのです。それまでなんとなく出来ていた私は苦戦を強いられました。が、なんとか教え、大半の生徒

を合格させることができました。それからは、普段の作陶中でも指の当て方、手の角度、力の入れ具合など細かなところを考えながら作るようになりました。

## 和

内川 健一 (平7F卒)

私はセラミック科第7期生として、平成7年3月に卒業し、現在建設業を営んでおります。会津若松市真宮新町に事務所を構え、県内全域を営業拠点として、従業員60名ほどの会社です。

4年前に先代社長(父親)が急死し、私が事業を継承致しました。あらゆる景色が一変して無我夢中で今まで来ました。経営者として一人の人間として今思っていることを少し述べたいと思います。人として大事なのは、「礼儀」「思いやり」これに尽きると思っています。「礼儀とは、人間関係や社会生活の秩序を維持するために守るべき行動」です。家でも、会社でもこういう気

持ちで生活することが大事だと思います。私もなかなか出来ないですけど努力していきたいです。

「思いやり」これは、いかに相手の気持ちになって物事を考えられるか、そういう言動をすることが大事だと思います。

この2つは、常にこういう人間でありたいと思っています。家族や従業員にもそういう人間であってほしいと思います。

仕事の技術や技能は反復して経験していれば、それなりに進歩しますが、この人間力は本人が意識して行動しないと成長できないと思います。私が率先垂範して、係る人が同じ様な考えになれば、素晴らしいと思います。

それと地域社会に役立つ会社でもありたいと思っています。北会津地区でいえば、ホテル祭りや会津田楽舞などのイベントは勿論その他色々な事も出来るだけ係って行きたいです。

最後に後輩の皆さん、「夢なきところに成果なし」大きな夢としっかりとした目標を持って人生を歩んでください。

我社の理念 《和》

《社員の和 お客様との和 地域社会の和》を大切にします。です。

# 今年度受賞・活躍された先輩

## 第26回工芸美術日工会展で内閣総理大臣賞



会津若松市の会津工芸美術日工会展で、高教諭の岩渕浩之さんは第二十六回工芸美術日工会展で最高賞の内閣総理大臣賞に輝いた。受賞作品は漆工芸の「木もれ陽」で、黒く輝く漆を背景に貝殻を用いて日差しを表現し、卵の殻や銀粉、金粉で鳥を形作った。鳥や日差しを立体的に表現するのに苦労したと

### 岩渕さん(会津工芸) 最高賞

11日から東京 工芸美術日工会展



内閣総理大臣賞に輝いた岩渕さん(左)と日工会員賞を受けた坂内さん

平成28年6月3日付 福島民報社  
岩渕浩之(昭和54卒)

を訪れ、受賞を報告した。展覧会は工芸美術日工会などの主催で十一日から十九日まで東京都美術館で開かれる。

## 国際交流

### 日本語ボランティア

普通のサラリーマンでも  
日本語の先生になれるんです

「私は、語学ができるわけでもないし、ホームステイに行ったことがあるわけでもないんですよ」と話すのは、日本語ボランティアの活動を始めて23年目になる青山さんです。青山さんがボランティア活動を始めたきっかけは、「何かやってみようかな。外国出身の人と交流してみたいな」というちょっとした好奇心からです。当時、交代勤務の会社員だった青山さんは、自分の空いた時間を利用してボランティア活動を始めました。

「生徒から『先生、日本語通じたよ』と言われるとうれしい」と話す青山さんは、「日本語だけでなく、日本の文化も学んで欲しい」との思いから、生徒たちを連れて初詣に行ったり、温泉に行ったりしたこともあります。そんな青山さんが、日本語を教えるときに大切にしていることは、「生徒の希望に添った授業ができるように、一人ひとりの学びたい内容を把握すること。そのためには青山さんは、コミュニケーションを取ったり、外国の文化などを勉強したりして、生徒一人ひとりを大切にしています。「誰かに必要とされ、人のために自分が何かをすることが喜び」と言う青山さんにとって日本語ボランティアはライフワークになっています。



日本語ボランティア  
青山 孝男さん  
(天神町)

平成28年6月1日付 あいづわかまつ市政だより  
青山孝男(昭和43卒)

## 「伝統文化ポーラ賞」地域賞



宗像利浩さん  
宗像利浩さん  
宗像利浩さん

「伝統文化ポーラ賞」地域賞  
本郷焼の宗像さん選出  
伝統工芸を継承し、新たな作品や芸術にも挑戦。代表作の利鉢など各陶芸展で評価を得ている。東日本震災、東京電力福島第一原発事故で登り窯が損壊したが、再生プロジェクトに取り組んだ他、東大寺に茶わんを奉納するなどしている。福島大や会津大短期大学の講師として後進も指導する。宗像さんは「受賞は先人が会津本郷焼の伝統を守りつないでできたおかげ。さらに会津本郷焼を再認識していただき、振興につながればうれしい」と話している。今年度は優秀賞二件、奨励賞一件、地域賞五件が選ばれた。表彰式は十月二十六日、東京都で行われる。

## 会津ゆかりの作家展

若松 画廊みゆーず40周年記念



会津出身・在住の作家の作品が並ぶ会場と中島代表

同画廊は中島正規代表(66)が会津に美術作品を発表する場所をつくらんと始めた。同時に総合教室、セミナーも開催し、作家を育成している。今回は、大学教員などとして活躍する教えずや、会津ゆかりの作家約20人が出品。会場には、漆芸や陶芸、パステル画や水彩画など、多彩な約200点が並んでいる。午前10時〜午後5時。入場無料。問い合わせは同画廊。電話0242-24643(3)へ。

平成28年8月17日付 福島民友  
宗像利浩(昭50卒)

## 教室開設40周年展

# 今年度受賞・活躍された先輩

## 15年の集大成 会津地方タウン誌「下野街道」最終号

### 会津地方タウン誌「下野街道」 思いの全て最終号に

### 15年の集大成 完成



「下野街道」の最終号を手にする水野さん

会津地方のタウン誌「下野(しもじ)街道」(昭三十五号)が完成した。会津美里町のヤマト企画編集部の水野俊彦(昭三十九)さんが平成十年から一人で、会津の歴史や観光、行政を幅広く話題を集め続けてきたが、今回が最終号となった。

平成27年12月19日付  
水野俊彦(昭39 K卒)

福島民報社

最終号はA4判の全二巻、歴史や観光、行楽や暮らし、産業や文化、人口減少問題、環境問題など、幅広い話題を扱っている。水野さんは、この15年間に「下野街道」を編集し、発行してきた。この15年間は、会津の歴史や観光、行政を幅広く話題を集め続けてきたが、今回が最終号となった。

「下野街道」は、会津地方の歴史や観光、行政を幅広く取り扱った。この15年間は、会津の歴史や観光、行政を幅広く取り扱った。この15年間は、会津の歴史や観光、行政を幅広く取り扱った。

## 作陶展開催

天国の娘の作品と競演  
美里で渡辺さんが作陶展  
会津美里町の陶芸家渡辺雅彦(昭三十九)さんの約20年ぶりの作陶展は、11日まで、開場本郷庁舎内の郷里展示ホールで開催されている。同時開催として、26歳で亡くなった娘・千賀さんの作品も並んでおり、親子の作品が来場者の心に感動を与えている。

渡辺さんは、会津若松工業試験場に勤め、焼き物について研究。退職後は陶芸家として活動し、日展会友、日本現代工芸美術展評議員・審査員、県総合美術展運営委員・審査員などを務めている。日展などに作品を出品し、約40年が過ぎたことから2度目の作陶展を企画した。

会場には、渡辺さんの日展や現代工芸



渡辺さん親子の作品が並ぶ会場

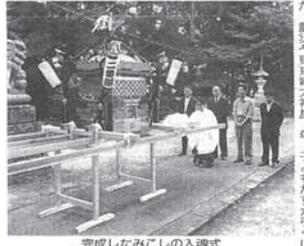
平成28年1月9日付  
渡辺雅昭(昭27 K卒)  
福島民友



みこしの完成を喜ぶ鈴木社長(右から6人目)と加藤社長(左から4人目)ら

地域の伝統を消さないためにーみこし新調

## 被災企業協力 みこし新調



完成したみこしの入魂式

郡山のキクタ「子どもに夢と希望を」  
陶芸所・鈴木社長  
地域の伝統を消さない、被災企業を支援し、みこしを新調する。郡山キクタの鈴木社長は、被災企業を支援し、みこしを新調する。郡山キクタの鈴木社長は、被災企業を支援し、みこしを新調する。

## 第111回会津殉難者慰霊法要

京都の「会津殉難者慰霊法要」

### 長年供養、先人に思い

## 会津ワイド



会津墓地で焼香する(手前右から)松平さん、大竹会長、室井市長

京都府の会津会  
一層の親睦誓う  
京都府の会津会、一層の親睦を誓う。京都府の会津会、一層の親睦を誓う。

平成28年6月15日付 福島民報社

鈴木寛長(昭33K卒)

# 今年度受賞・活躍された先輩

## 第68回福島県総合美術展 「青少年奨励賞」 「県教育委員会教育長賞」受賞

高校生で受賞は難しい！ 第68回福島県総合美術展  
「青少年奨励賞」「福島県教育委員会教育長賞」を受賞

「素晴らしいことは？  
「それではいつも小さな作品ばかりだったので、大きいのに選ばれていなかったこと。特に高さを出すのが大変でした。先生にアドバイスをもらいながら作っていました。」

「夕暮れ」というタイトルの由来は？  
「作品の色ですが、夕暮れのイメージに合わせ、仕上げが赤紫色になるように薬を調整しました。試作で出した色で、本番の大きなサイズに活用して作りました。」

3C 鈴木 奨くん  
鈴木くんは第六十八回福島県総合美術展で工業美術の部に「夕暮れ」というタイトルの陶磁器を出品し、「青少年奨励賞（福島県教育委員会教育長賞）」という栄誉ある賞を受賞した。なかでも「青少年奨励賞」は十八歳から二十歳未満を対象としており、専門学校生、短期大学生、大学生からも多数出品がある中で、高校生の鈴木くん一人が受賞するという快挙を成し遂げた。鈴木くんは「高校生活で最も印象に残った出来事だった」と振り返る。

さ三杯のずっしりとした陶磁器。作るのにどのくらい時間がかかったんですか？  
「一週間くらいです。」  
「そもそもなぜセラミック化学科に？」  
「中三のとき、体験入学に来てみて面白そうだなと興味を持ったのがきっかけです。三年間色々な勉強をしてきたけど、他の学校にはない実習があって楽しかったです。クラスも面白いなさばかりで毎日楽しんでいます。ギャグを担任の先生も優しいし、ギャグを話したりして……」



受賞した陶磁器「夕暮れ」

最後にC科の後輩にアドバイスはありますか？  
「三年になるとけっこう大変な実習があるので、先生にアドバイスをもらってやりたいと思う。しっかりと勉強して良い成績を残して一日一日を大切に。」



## 台湾の中高校生ら来訪

台湾の中高校生らは23日、会津若松市の会津工高を訪れ、粘土を使ったろくろ体験などを行い地元の高校生と交流した。県の台湾教育旅行関係者招聘（しょうへい）事業の一環で、同事業で生徒が来訪したのは初めて。一行は台湾南投県私立三育高級中学の中学生10人と教師2人。会津工高では、歓迎セレモニーが開かれた。記念品を交換し、地元の生徒から起き

上がり小法師（こぼし）や赤べこが贈られた。同校吹奏楽部が演奏を披露した。セラミック化学科の生徒から粘土の練り方などの指導を受けた台湾の中高校生は、ろくろも体験し、目を輝かせていた。卓上旋盤を使ってのキーホルダーづくりにも挑戦した。このほか猪苗代町の野口英世記念館などを見学した。

平成28年5月24日付 福島民報社

## 台湾の学生らと会津工高生と交流

## 会津工高生と交流

会津若松市の会津工高で8日、本年度の「ろくろ技能検定」が行われ、生徒が学科と実技に臨んだ。10日も実施され、今月下旬にも合否が発表される。県産業教育振興会と会津本郷焼事業協同組合、県高校教育研究会工業部会の主催で伝統技能の継承と普及

## ろくろ検定に挑戦

## 会津工高生が受検

などが狙い。同校セラミック化学科の1、2年生6人が受検している。実技では、土練りに続き90分以内に直径12センチ、6センチの茶碗五つと自由課題の作品を成形した。生徒たちは真剣な表情でろくろを丁寧に形作っていた。10日は作品を仕上げる。



真剣な表情でろくろと向き合う生徒

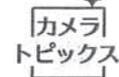
## 会津工高生 ろくろ検定に挑戦

## 歴史感じ味わう一杯 —向羽黒山城跡ふれあい茶会—



平成28年5月31日付 福島民友

会津工高セラミック化学部の作品展示コーナー。県展で入賞した茶碗などが並ぶ。部長の安藤翔太さん（3年）は「お客さんが作品に驚いてくれたらいいなって思っているのでうれしい」とほほ笑んだ。



会津工、大沼高生による学生茶席。おもてなしの気持ちを込め、お点前を披露した

# 母校だより

## 会津工業高校の染色型紙



教頭 山内 秀治

染色型紙は日本独特のもので、和紙に柿渋を塗って貼り合わせたものである。精巧な柄、模様が彫り上げられており、型染めに使われる。本校には2千〜3千枚程度の染色型紙が保存されており、なかには全国的あるいは世界的な水準とされるものを含んでいる。

会津工業高校が明治37年に創立されたときの学科は漆工科、窯業科、染織科であり、染織科は後に繊維工業科と改称された。そのような学科において収集保管されてきた本校の染色型紙の大半は「菱屋」の「菱丙」で使用されていたものである。

1994年3月には創立90周年事業の一環として会津工業高校の染色型紙図録が刊行された。この図録は、伝統の周知、型紙の保存、管理を目的としたものである。元同窓会長吉田一栄氏は「発刊にあたって」の中で、当時の繊維工業は最先端の技術であったことを述べておられる。したがって、染織科はハイテクノロジー（ハード）を教授する学科でもあったと同時に日本人の心（型紙、ソフト）を伝える学科でもあったのである。

また、同図録には、染色型紙は「職人の技によってつくられるものであり、そのすばらしさは芸術あるいは工芸美術品と呼んでもよいものであること、日本人の心の中に流れている普遍的文化とも言え、決して失ってならない人類共通の民俗文化遺産ということで、文化庁から保存の必要性が指摘されたこと」などが述べられている。

繊維工業科が1991年に閉科となり、本校に現存する多数の染色型紙を後世に満足な状態で伝えていくことが大切であることは論を待たないが、その保存については十分配慮していかねばならない。

現在、本校では専門知識を有する福島県立博物館に「寄託」というかたちで型紙の保管を依頼する方向で考えているところである。

## 進路指導部から



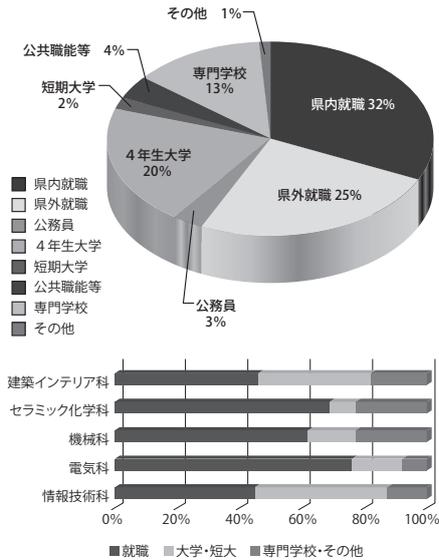
主任 菅家 慶広

同窓生の皆様方には日頃よりあらゆる面でご指導、ご支援を頂きまして改めて感謝申し上げます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて平成27年度の本校の進路状況は、就職者が約6割強、進学者が約4割弱という結果で、例年よりもやや進学者の割合が多かったようです。就職希望者、進学希望者ともに3月中旬に内定もしくは合格を頂くことができ、おかげさまで卒業生全員の希望進路の実現に辿り着くことができました。

就職者の合計は、142名です。このうち民間就職内定者は、133名で卒業生徒の57%程度となり、26年度よりも就職者の割合は減少しました。27年度の求人件数は1025件（事業所数）で、昨年度は847件であったので県内外の求人数い

グラフ1 平成27年度卒業生進路状況



グラフ2 平成28年3月卒業生の進路状況 (科別)

れも相当数増加しました。1000件を超えたのは平成20年度以来のこととなります。採用試験においては約85%の生徒が1社目の挑戦で内定を頂くことができましたが、特に大手企業や人気企業は求人を受けても他校との競争率が高く、優秀な人材を求めているのは従前と変わりはないようです。また27年度の就職先の特徴としては県内企業の割合が例年より高かったことがあげられます。

公務員については、合格を勝ち取ったのは6名という結果で、前年度よりは苦戦しました。人気の高い職種は警察、消防ですが地方ほど競争倍率が厳しい状況です。ただ女子1名が見事関東地区の消防士に合格したことは特筆すべき事です。

進学者の内訳は、4年制大学・短大がその半数を超え、残りが専門学校進学というものでした。国立大学には会津大学の3名合格にとどまりました。大学進学者の多くは、工業系の学部の指定校推薦によって合格しています。ただ本校でも将来安定した職業に就くためという事で医療・看護系の大学・専門学校を希望する生徒も年ごとに増えているようです。

さてハローワークによると福島県は全国平均に比べ1年以内の離職率が高いそうです。本校の最近の卒業生でもその例は数件あります。もし皆様の職場に後輩が入ってきましたら先輩としてぜひとも温かいお声かけや悩みの相談のついでにただだければ幸いです。

今後も生徒達の夢実現のため、そして本校の歴史と伝統に恥じない社会人を輩出すべくしっかりと職員一同、進路指導に当たってまいります。

## 平成28年度 1学年



主任 渋川 順一

新入生が入学してから早4ヶ月が経ちました。入学式から始まり、定期考査、球技大会といろんな行事を経験することで学校生活にも慣れ、自分の目標に向かって突き進む事を望んでいます。

本校の特色は、地域企業との太いパイプによる就職に有利な進路状況にあります。工業技術を習得し、これから始まる社会人としての基礎を身につけることを主眼として、以下の3つの学年目標を掲げました。

1. 基本的な生活習慣の確立
  - ・遅刻、無断欠席ゼロを目指す。
  - ・服装、頭髪指導を徹底する。
  - ・あいさつと正しい言葉遣いを徹底して指導する。
2. 学習意欲の向上
  - ・授業への積極的な姿勢を育てる。
  - ・週の反省と目標を利用して、家庭学習時間の定着と課題等の未提出者の絶無を目指す。
3. 進路意識の高揚
  - ・個別面談や進路ガイダンスの実施
  - ・資格検定に積極的に取り組ませる。

これらの目標を達成すべく生徒共々頑張っています。この4ヶ月を振り返って見ますと、生徒諸君は素直であり、礼儀もわきまえている反面、まだまだ、人に頼ろうとする甘えが見受けられます。中学時代3年生として学校のリーダーとして活動していたはずですが、高校に入学して状況を理解して行動することができない生徒も見受けられます。高校生活の第1目標は「進路実現」にあります。これを見失うことなく行動してくれば、地域企業との太いパイプを有する本校の特色と相まって、すばらしい社会人になることを確信しています。

## 2学年の様子



主任 村田 光夫

新たに2年生としての生活が始まり、約6ヶ月が経っています。今後の学校生活

や進路に向けてどうしていくべきか？を一人ひとり考えられるよう、また行動できるよう指導していきたくと思っています。今年の上級生として、学校行事・生徒会行事・部活動など様々な場面において、中心となつての行動が期待されますので、中堅学年として3年生を補佐し、1年生を導いて欲しいものです。

生徒達の様子はというと、勉学に部活動に取り組みながら活発に生活しています。しかし、中には自分の目標が決まらずにどうすればよいか悩んでいる生徒もいますが、徐々に道を示していければと思います。高校時代のちょうど中間点となつたこの時、いろいろな面で意識を高めさせていきたいと思っています。

今年の修学旅行は、京都・奈良・大阪の関西方面へ行きますので、生徒達が見聞を広められる機会でもあります。また、3年に一度の体育祭がありますので、慌ただしくなることでしょう。そのような中で学年として団結力を強め、一年後の進路決定へ向けて強い心を養わせたいと思います。今後とも母校、会津工業へのご支援・ご協力をお願いいたします。

# 母校だより

### 会津工業高校耐震等の工事について

会津工業高校は、現在次の工事が行われています。

工事は、今年度中に終了します。生徒は、工事現場さながらの環境の中でもしっかりと勉学に励んでいます。



本館耐震工事(正門より)



南1棟電気科実習棟3階部分(元美術室)の撤去工事(北体育館より)



北2棟 機械科実習棟耐震改修工事(本館側より)

## 卒業年度を迎えて



主任 加藤 義勝

4月から3年生になり、上級生として頑張ってくれるかどうか心配をしておりますが、何とか3年生の役割を果たしてくれた1学期だったと思います。強歩大会や校内球技大会、生徒総会、会津地区大会や県大会などの各種大会・コンクールなどでも、3年生が中心となって活躍していた姿が見られました。

入学から早2年と7カ月が過ぎ、いよいよ我々の学年も各自進路を決める時期になりました。今年度の就職求人状況も昨年同様、求人数が多い状況のようです。文部科学省の平成27年3月高等学校卒業者の就職状況の報告を見ると、全国平均で97.5%になりました。平成4年3月以来、23年ぶりの高水準だそうです。今年度も同じような求人状況ですので、生徒達はいへん恵まれた就職状況だと思います。

続きました。

就職試験までは、一般常識の勉強やSPIの勉強、企業によっては作文や小論文などがあります。また、科の先生方や教科担当の先生方の協力で、面接練習もあります。なかなか思うようにならないのが現実です。普段から敬語を使って話すことや、コミュニケーションができない生徒は苦労しているようでした。

就職受験者は、9月16日から試験開始でした。その後は、公務員希望者、進学希望者が受験することになります。自分の希望する進路先が実現できるよう期待したいと思えます。ある名言の一部に、

「やる気がなくなった」のではない。「やる気をなくす」という決断を自分でしただけだ。「変われない」のではない。「変わらない」という決断を自分でしているだけだ。

今、生徒達は、やる気と自分が変わる時期です。全力で頑張っしてほしいと思います。そして、残りの高校生活の時間を大切に、卒業を笑顔で迎えられるよう学年としても援助していきたいと思えます。同窓会の皆様、今後ともよろしく願っています。

## 同窓会ホームページ開設

スマートフォンからもご覧になれます



QRコード

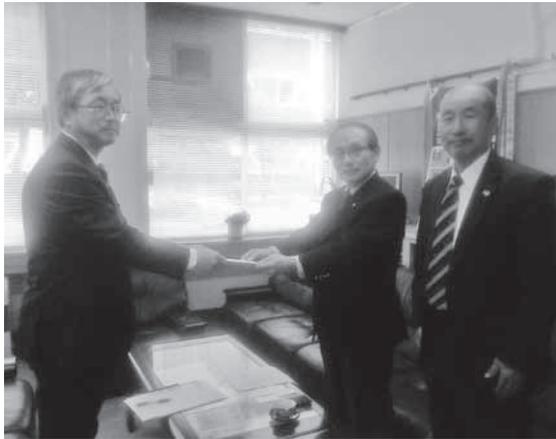
投稿用メールアドレス [kaikoudousukai@agate.plala.or.jp](mailto:kaikoudousukai@agate.plala.or.jp)



〈手順〉

- ①お手持ちのスマホにQRコード読み取りアプリがなければ、iPhoneは「App Store」から、Androidは「Google play」からインストールしてください。
- ②QRコード読み取りアプリを開きます。画面内に大きな四角の枠が表示されるので、枠内に収まるように上記QRコードを映してください。
- ③正しく読めると、コードに埋め込まれたURLが表示されます。
- ④URLを開くを選択するとブラウザ選択画面が表示されますので、お好みのブラウザを選択してください。
- ⑤同窓会関連連絡を選択します。
- ⑥同窓会一覧に入りましたら見たい項目を選択してください。

## 寄付・寄贈



### 山岳部OB会より山岳部へ激励金

5月10日、山岳部OB会の千葉鉄雄会長、長尾好則副会長が来校し、山岳部の後輩へ激励金を贈りました。早速新しいメインザックとサブザックを購入し、大会や合宿の際に活用しています。部費が限られている中、大変後輩達は感謝しています。写真 右から山内教頭、千葉会長、長尾副会長



### 金田 寛作「農村の風景」寄贈

部活動等の環境整備を図るため、金田寛様より絵画の寄贈がありました。



### 吉田名誉顧問絵画寄贈

平成27年12月21日に吉田一榮名誉顧問より6点の絵画が寄贈されました。寄贈された絵画は、順次鶴翔会館に掲げる予定です。



橋本広喜 作「杉の系桜」



星 六郎 作  
「花」



星 六郎 作「芦ノ牧風景」



K. 五十嵐 作「ベニスの風景」



橋本広喜 作「冬の虚空蔵尊」



星 六郎 作「尾瀬」

母校だより

# 「松江賞」受賞!!

## 松江賞



建築インテリア科  
佐々木 夏海

このたびはこのようならば、  
しい賞を受賞することができ、  
とてもうれしく思います。

私は高校生活三年間、勉強・  
部活動共に一生懸命取り組み、  
たくさんのことに挑戦してきま  
した。普段の勉強はもちろん資  
格取得や部活動に力を入れて取  
り組み、その努力が実り、「松江  
賞」を受賞できたのだと思  
います。

この「松江賞」受賞を励みに  
大学進学後やその後もたくさん  
のことに挑戦し、より多くの知  
識を学んでいきたいと考えてい  
ます。



セラミック化学科  
安部 琴音

この度は、このような名誉あ  
る賞をいただくことができ、と  
ても嬉しく思っています。三年  
間、部活と勉強の両立を図る事

は大変でしたが、頑張ってきた  
結果がこの様に報われるという  
のはこれからの糧になっていく  
と思います。野球部で培った礼  
儀や思いやり、助け合いの気持  
ちや会津工業高校で学んだ全て  
のことを忘れずに、支えてくれ  
る人に感謝して大学生になつて  
も頑張りたいと思います。



機械科  
玉川 怜

私は、会津工業高校で、将来  
のために、資格などの勉強を一  
生懸命やってきました。その結  
果、ジュニアマイスターゴール  
ドや松江賞などの賞を頂くこと  
ができました。ジュニアマイス  
ターは、入学したときから目標  
にしていました。しかし、松江  
賞は、とれないだろうとあきら  
めていました。でも、受賞する  
ことができると決まったときは  
とてもうれしかったです。

これから社会人になるのでし  
っかりと目標をきめ、一生懸命  
がんばりたいと思います。  
松江賞を受賞することが出来  
て本当に良かったです。



電気科  
渡部 終平

私はこの度、松江賞を頂けた  
ことをとても誇りに思っていま  
す。それは、一学年の時から自  
分の進路の為に一生懸命勉強し  
たことを褒めてもらっているよ  
うに思えるからです。

今までの学生生活の中で、よ  
りよい道へ進んでいくために、  
私は試験に真摯に取り組んで来  
ました。その中で自分の望まな  
い結果が出てしまい、大きな後  
悔を生んでしまったこともあり  
ましたが、その度に次への反省  
とし、諦めず取り組みで自身を  
成長させてきました。この時一  
番大きかったのが、友人や親の  
存在でした。良い結果を認めて  
くれる人がいたからこそこの賞  
を受賞出来たのだと思います。  
周囲の人に感謝し、これから  
も精進したいと思っています。



機械科  
遠藤 悠平

この度、松江賞という栄誉あ  
る賞をいただけたことを大変う  
れしく思っています。  
私は三年間、勉強に部活動、

そして学校外の活動に意欲的に  
参加してきました。その中には  
ビブリオバトル的書評合戦や  
グローバル人材育成プロジェクト  
などがありました。これらの  
活動は人間として大きくなるた  
めの大切な要素になったのでは  
ないかと思えます。



情報技術科  
白井 友貴

このたび、松江賞を受賞す  
ることができ、大変嬉しく思っ  
ております。

私は将来就きたい職業に繋が  
るような知識や技術を身につけ  
るため、会津工業で情報分野を  
中心に工業高校でしか学べない  
専門の勉強や資格取得に力を入  
れてきました。入学当初からの  
目標であったITパスポートを  
中心に様々な資格を取得するこ  
とができ、私にとって大変有意  
義な三年間を過ごすことができ  
ました。

大学に進学してからも、高校  
生活で学んだ様々な知識や経験  
を今後の生活に活かし、社会に  
貢献していきたいです。



# 同窓会賞



建築インテリア科  
荒川 祐弥

学校での生活面では、皆勤賞を目指し遅刻や欠席をしないようにしたり、早寝早起きの習慣や部活動で体を動かすことで健康に気を使ったりしてきました。

学習面では、専門の建築の分野については一から習うことばかりで楽しくもあり、悩ましくもありました。そのため、成績では建築の教科だけ波があり、テストがあるたびに今度こそという気持ちで勉強しました。私は今まで一生懸命やることはあっても、本気で何かに取り組むことはなかったけれど、会津工業高校に入学をして、ほぼ毎日が勉強と部活を繰り返す中に少しは本気になったこともあると思います。他のどの学校に行くより、とても充実した生活と成長ができたと思います。



セラミック化学科  
大竹 悠介

私は、今回このような素晴らしい賞を受賞することができ、とても嬉しく思います。正直、私には無縁の賞だと思っていたので驚きを隠せません。短い三年間でしたが、とても充実させることができ、自分の任務を全うできたと思います。こう思えるのも、三年間支えて下さった先生方、友人、両親のおかげだと思います。その方々への感謝の気持ちをお忘れずに、賞を受賞できたこと、会津工業を卒業したことに誇りを持ち、これから続く人生の中で、賞に恥じることはない他の模範となるべき人間像を目指しより一層努力に慎みたいと思います。



機械科  
五十嵐 香月

私は、この同窓会賞を受賞して嬉しいです。一年生の時から進路は就職にしようと考えていてそのために勉強を頑張りました。その甲斐あって希望した就職先に内定することができたので、今まで頑

張ってきて本当に良かったと思っています。

内定先が決まっても勉強を疎かにしないよう心がけました。個人的には、しっかりと目標を持って勉強を頑張るといふことと、三年生の最後のテストまでしっかりと勉強を続けるということだと思っています。

何でも最後までやりきって、その結果が良かったとしても次に繋げることが大切だと思います。今回は受賞できて良かったです。



機械科  
角田 健太

このような立派な賞をいただいたことを大変嬉しく思っています。

一年生の時の私は、クラスで中間の成績でした。就職を意識してからは、徐々に上がっていき、三年生で最後の順位が三位になりました。ここで私は、努力すれば結果はついてくると分かっていました。

この三年間の頑張りを評価していただきとても嬉しいと思います。社会人としても、高校で培ってきた、一生懸命さや、諦めない気持ちを忘れず頑張っていきたいと思っています。

たいと思っています。



電気科  
齋藤 綺珠

私は、女子一人でしたがクラスメイトに恵まれ三年間、楽しい高校生活を送ることができました。

そして、文武両道が私の目標なので、義務教育を含めた九年間一日も休まず学校生活を送れたこと、工業高校でしか取ることができない資格を取得できたことを誇りに感じます。

会工で学んだことをもとにこれからも努力したいと思っています。



情報技術科  
角田 累

この度は、同窓会賞を受賞し、とても光栄に思います。担任の先生から受賞したことを伝えられた時は大変驚きました。

まだ同窓会について詳しいことや内容などはわからないのですが、先輩方とのつながりを大切にし、卒業しても会津工業というブランドに誇りを持ちたいと思っています。

また、同窓会の一員としてこれからも会津工業の良き伝統に関わりたいと思います。



# 「同窓会賞」受賞!!

# 平和の覇者を育みぬ。

校歌から

## 学び舎 ロケーション ① 専門課程は、いま。



### 建築インテリア科

主任 長谷沼 徹

日頃より、同窓会の皆様方にはご支援とご協力を頂きありがとうございますとございます。社会に貢献できる建設産業人材の育成を目指して、在校生が益々活躍できるように、今後とも本科の教育活動に皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、平成28年度人事異動により、主任の田中哲先生が喜多方桐桜高校へ転勤となりました。代わって、勿来工業高校から寺島弘幸先生をお迎えし、7名のスタッフで今年度がスタートしました。

#### 【建築インテリア科職員】

- 長谷沼 徹 (科主任)
- 寺島 弘幸 (建築インテリア科1年担任)
- 菅家 慶広 (進路指導主事)
- 黒澤 静子 (建築インテリア科3年担任)

岩淵 浩之 高橋 弘光  
星 明宏

#### 【クラス関係】

- ◆3年 担任 黒澤 静子  
副担任 益子 茂 (社会)
- ◆2年 担任 佐藤 慶一 (社会)  
副担任 長谷沼 徹
- ◆1年 担任 寺島 弘幸  
副担任 神田 美香 (国語)

以上、クラス担任、副担任を合わせるると10名で構成されております。

生徒の状況ですが、3年生40



工業部会建設系専門部会 会津総合病院解体現場見学



工業部会建設系専門部会 山口設計見学

名(男子24名、女子16名)、2年生40名(男子22名、女子18名)、1年生40名(男子19名、女子21名)となりました。年々、女子生徒が増えています。今年度は男女が逆転しています。今後、女子生徒の進路先の確保が課題となります。今年度の進路状況ですが、担任の黒澤先生が三者面談を実施しており、忙しい夏季休業になりそうです。今年度の求人においては、昨年同様に建設関係企業の人材確保などの需要で好調です。管内企業においても例年になく求人数が伸びておりますが、希望通

りの人材確保ができていないのが現状です。

7月6日には1年生が滝谷建設工業株式会社の会津総合病院解体現場の見学を実施しました。建築科の卒業生である建築部長の石崎浩一様と現場代理人の鶴巢慶一郎様には大変お世話になりました。鶴巢様のご息子が今年、建築インテリア科に入学しました。また、夏に開催された、福島県教育研究会工業部会建設系専門部会でも、会津総合病院の解体現場見学と株式会社山口設計を見学させて頂きました。社長の山口一男様も建築科の卒業生であり、多くの卒業生が働いており、昨年も1名採用して頂きました。建築に興味を持って欲しいと、いくつと、毎年、建築の専門書を寄贈して頂いています。改めて、感謝申し上げます。

現在、本校は理科実習棟(南1棟)、耐震改修工事(3期)、管理教室棟(本館)、耐震改修工事(2期)、機械科実習棟(北2棟東側)大規模改造工事が行われております。多くの同窓生が工事に携わっています。在校生には教室の移動や騒音等で迷

惑をかけていますが、来年度には新しくなった校舎で学ぶことができると思います。

一人でも多くの生徒が同窓生

の姿をみて地元の建設系への就職が増えることを期待します。



建築インテリア科1年生 会津総合病院解体現場見学



# セラミック化学科

主任 石崎 晃

会工同窓会の皆様には、本校セラミック化学科の教育活動にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。本年度も、よろしくお願いいたします。

昨年度末の人事異動により、12年間在職していました大塚正幸が郡山北工業高校へ、1年間お世話になりました藤沢健一が千葉県の教員として、それぞれ栄転されました。その代わりに二本松工業高校から山野敏と郡山北工業高校から石崎が新たに配属され、村田光夫、村山彰一、熊田志郎、大濱達明の新体制で、今年度が始まりました。旧年度同様セラミック化学科は、地域に根ざし社会に貢献できる人材の育成を目指し、日々の教育に励んでおります。

## 〈生徒の状況〉

クラスの在籍状況は次のとおりです。

- ・ 1学年 男子19名、女子21名 (担任：川井 勉、副担任：村山彰一)
- ・ 2学年 男子19名、女子21名 (担任：村田光夫、副担任：川実香)
- ・ 3学年 男子18名、女子19名

(担任：加藤勝義、副担任：石崎 晃)

## 〈科生徒たちの活躍〉

### ○水泳部

安部萌美 (3年) 飛込競技

県高校大会2冠 (団体優勝)

### ○新体操部

県高校大会 団体優勝

個人優勝 渡邊亮太 (3年)

### ○陸上競技部

木村吉希 (1年) (地区高校男子1年3000m大会新)

### ○セラミック化学部 (陶芸班)

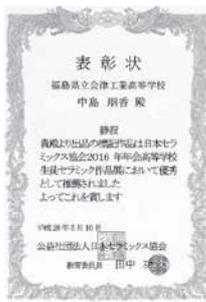
高等学校生徒セラミック作品展

優秀賞「静寂」中島 朋香 (昨年卒業)

その他、運動部の他に文化部も熱心に活動し、正に文武両道を実践している。

〈主な学科の取組と行事〉

4月 科対面式 セラ友会花見 会津総合美術展出品



福島県総合美術展 入選2作品

会津総合美術展 青少年奨励賞2作品

「曜碧」渡部大地、「寂曜」梶内雄介



○工芸デザイン選択生徒

・福島県総合美術展 入選4作品

「幻華」岩橋 舞、「緑映」齋藤一真、「優曜」藤原美咲、「伸」渡邊亮太



その他、運動部の他に文化部も熱心に活動し、正に文武両道を実践している。

〈主な学科の取組と行事〉

4月 科対面式 セラ友会花見 会津総合美術展出品



科対面式

5月 美里町お茶会

福島県総合美術展出品

6月 工場見学 (3年)

セラミック能力検定 (3年) 27名合格



会津本郷せと市



工場見学 (3年)



美里お茶会

7月 全国統一陶芸検定

初級6名、中級8名、上級4名合格

8月 会津本郷せと市 (約200点完売)

9月 陶祖祭

10月 ものコン県大会 (化学分野部門)

11月 市民美術展応募

12月 ろくろろ技能検定講習会

1月 ろくろろ技能検定



ろくろろ技能検定

2月 陶磁器能力検定 (1年)

3月 同窓会のセラ友会入会式

卒業式

〈その他の活動〉

5月23日 台湾の中生との交流

交流

県の台湾教育旅行関係者招聘



台湾の中生との交流

事業の一環で、本校へ南投県私立三育高級中学の高中生10名と引率教師2名が来校した。セラ化では、ろくろ体験を3年生有志が講師役となり指導し、1年生が制作した赤へこをモチーフにした箸置きプレゼントし交流を深めた。

## ・地元企業と連携した研究

「環境セラミックス製作研究」とおした科学技術・製造技術の習得」をテーマとし、水の環境に配慮したセラミックス製品開発を(株)アースエレメントや会津セラミック懇話会の地元企業とハイテクプラザ会津若松技術支援センターの協力のもと生徒10名が研究している。



学習会の様子。専門校における地域連携事業

# M

## 機械科

科長 渡部 哲

今年度の人事異動では、本校に7年間勤務された田中公雄先生が、喜多方桐桜高校に転出されました。代わって、喜多方桐桜高校から岩沢巖先生が着任されました。また、実習の根本直樹先生が郡山北工業高校に転出され、栗田克志先生が、喜多方桐桜高校から着任し、13名のメンバでのスタートすることになりました。機械科は、本校の工業科の中でも、最もバランスのとれた年代構成になっており、素晴らしいスタッフであります。

担任は、1年生は1組山田賢教諭・2組齊藤雅夫教諭、2年生は1組鈴木雅博教諭・2組阿部友一教諭、3年生は1組由田桂一教諭・2組児島二郎教諭の6名でクラス経営にあたっていきます。

機械科は、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。ただ、最近、基礎学力の低下が顕著に見られているため、基礎・基本の定着と基礎学力の向上を図るべく、職員一丸とな

って取り組んでいる所です。昨年から今年にかけての、機械科の各種の取り組みや現状について簡単に報告させていただきます。

### 〈機械科の行事から〉

- ・4月 新入生対面式  
機友会花見
- ・7月 同窓会機友会から機械研修部への激励金贈呈式

### ガソリン溶接技能講習会

- ・3級技能検定(普通旋盤) 前期講習会及び試験
- ・機械製図検定試験
- ・9月 基礎製図検定
- ・11月 ふいご祭り
- ・12月 3級技能検定(普通旋盤) 後期講習会及び試験

### 〈進路について〉

- ・1月 機械科課題研究発表会
  - ・2月 同窓会機友会入会式
- 昨年の進路状況は、就職が48名(内公務員3名)、4年生大卒10名、短大2名、専門学校17名の計78名の卒業生で内定率100%を達成することができました。

昨年も、多くの企業からの求人があり、生徒にとっては選択肢の幅が広く、担任として大変助かった年になりました。一方、専門学校への進学希望が最近増加傾向にあり、現場の教員としては工業高校としてこれの良いのか考えることが多く、ジレンマに陥ってしまっているのが現状です。



ワールドエコノムープ2016 全国大会(秋田県大湯村)

### 〈各種大会での参加と活躍〉

- 福島県高校生ものづくりコンテスト2015旋盤作業部門 第4位
- (2年1組 浅野 朋輝)
- ワールドエコノムープ2016(大湯村)
- 総合26位、Jrクラス12位
- ホンダエコマイレッジチャレンジ2016もてぎ大会グループII(高校生クラス) 14位
- 福島県高校生ロボット競技大会出場残念ながら決勝トーナメント出場ならず
- 本田宗一郎杯ホンダエコマイレッジチャレンジ全国大会2015(高校生クラス42位、2人乗リクラス4位)

### 〈各種イベントへとコンテストへの参加〉

- ロボコンinあいつ2016への参加と協力
- 〈各種資格取得について〉
- ・機械製図検定試験、基礎製図検定試験、ボイラー二級国家試験、危険物取扱者試験、品質管理検定試験、パソコン利用技術検定試験、三級技能検定(普通旋盤)など、専門分野の資格に多くの生徒が挑戦して、すばらしい結果を残しています。その結果、ジュニアマイスター顕彰で表彰される生徒も多数であります。
- 〈全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰〉
- ジュニアマイスターゴールド
- ・玉川 怜(3M1)
- ・遠藤 雅彬(3M2)

- ジュニアマイスターシルバー
- ・大竹 智之(3M1)
- ・小野 巧真(3M2)
- ・角田 健太(3M2)
- ・磯部 亮太(3M2)
- 〈その他〉

5年前から実習棟の新築工事及び大規模改修が進められていましたが、今年度の北2棟の大規模改修工事をもって全て終了する予定です。今年の2月には、北3棟の北側部分(原動機・手仕上げ実習室)の大規模改修工事が終了して、機械科に引き渡されました。

最後になりましたが、OBの皆様には、今後とも機械科に対して、ご支援・ご協力を願います。同窓会機友会から機械研修部に対して激励金をご支援いただいていることに対しても厚く感謝申し上げます。



大規模改修工事が終了した北3棟の北側



8月から大規模改修工事が進められる北2棟(科務室等がある建物)

# E

## 電気科

主任 井上 浩一

今春の人事異動により、中野善司先生が退職され再任用教員として喜多方桐桜高校へ赴任されました。後任として、平成26年度まで情報技術科で教鞭を執られました菊池壽雄先生をお迎えし、新採用教員として小川拓也先生にもご着任いただき、電気科教員は7名体制になりました。

担任の先生方を紹介します。1年担任が浅川順一先生で、担当教科は理科・学年主任になり

ます。2年担任は佐久間智広先生で、担当教科は工業でありま  
す。3年担任は鈴木秀希先生で、  
担当教科は数学になります。

昨年・平成27年度電気科の活  
動状況をお知らせいたします。

### 1 H27就職・進学について

就職希望者29名中、県外企業  
に16名、県内企業に12名、公務  
員に1名の内定を頂きました。  
電気科卒業生ならびに同窓生の  
活躍により県内外から多くの求  
人を頂いている結果、順調に進  
路を決定することができました。

進学希望者9名中、4年生大  
学に6名、専門学校に3名とな  
っております。

### 2 H27発電所見学・工場見学

1年生 東新潟火力発電所  
2年生 下郷発電所 大川ダム  
3年生 北芝電機機

電気科では、高校在籍中に、  
火力発電所見学・水力発電所見  
学、工業見学を通して、見識を  
深めることにしております。昨  
年度は、東北電力様のご厚意  
により、発電所見学前に、発電  
の原理と震災からの復興をテー  
マに講義を頂きました。電気が  
身近なものであり大切なインフ  
ラ設備であることを感じ取るこ  
とができました。電気機器分野  
への関心も深まったと思います。  
見学にご協力くださいました  
企業様に感謝申し上げます。

### 3 H27資格取得状況について

第2種電気工事士資格試験  
に、1年生33名、2・3年生13

名の46名が合格しました。

学年度末での第2種電気工事  
士取得率は下記の通りになりま  
す。

1年生 82.5%、2年生 95.0%、  
3年生 94.8%

平成23年度より、新入生全員  
に第2種電気工事士前期試験を  
受験させております。上級学年  
での充実した活動を考慮して、  
1年次からの受験としておりま  
す。

1学期中は、ほぼ毎日補習授  
業を行っております。1年生と  
接する機会が多くなりますので、  
教員は生徒との距離が近くなる  
ことを日々感じ楽しく取り組ん  
でおります。生徒は大変かも知  
れませんが、

1年次に、結果が伴わない生  
徒もおりますが、卒業までには  
生徒全員を合格させたいと思っ  
ております。継続的に指導して  
いきますので、生徒を温かい目  
で見守りください。

なお、上級資格である第1種  
電気工事士試験には、8名の合  
格者を輩出することができまし  
た。希望者の受験であります。  
講習会を定期的に行っており、  
根気強く参加した生徒は、合格  
しております。

教員側の負担は大きいですが、  
生徒の喜ぶ顔を見ることができ  
るのも教師の職業の魅力です  
で、今後とも電気科ならではの  
電気工事試験講習会を継続し  
ていく所存です。

### 4 H27学校祭

3年に1度の学校祭が開催さ  
れました。電気科では、来場者  
に楽しんでもらうため、体験型  
のゲーム作品を課題研究で製作  
し出展しました。作品を紹介し  
ます。

TBSテレビで放送されてい  
たミラリスブーンゲームを作成  
しました。スプーンにボールを  
載せて、障害物をクリアしてい  
くゲームです。子供だけでなく  
大人も関心を示してくれて、多  
くの方が挑戦してくれました。  
完走した方にはパーフェクト賞  
(お菓子)をプレゼントしまし  
た。

電飾ワンダーランドと名づけ  
た作品を紹介します。手動でモ  
ーターを回転することにより電  
気を発生させて、LEDを点灯  
させるゲームです。電圧の大き  
さによりLEDの点灯領域が広  
がりやすくなります。子供たちはハンドル  
を必死に高速回転させて、モー  
ターからの発電を試みていまし  
た。

TVでお馴染みのストラック  
アウトも展示しました。しか  
し、設置場所が電気科実習室の  
奥の部屋であり袋小路のため、  
観覧者が入りにくかったよう  
です。多くの方にお披露目するこ  
とができなく残念でした。

学校祭は、電気科の魅力が発  
信していく場になります。多く  
の方に観覧していただくよう、  
試行錯誤しながら、3年後に向  
けて取り組んでいきたいと思っ  
ております。

### 5 コンテストおよび外部行事 について

福島県高校生ものづくりコン  
テスト「電気工事部門」に2年  
生の代表生徒が参加いたしまし  
た。ブレーカーを破損してしま  
うアクシデントもありました  
が、制限時間内には電気工事作  
品を完成することができまし  
た。結果は6位で、東北大会の  
出場権を獲得することはできま  
せんでした。

取り組んだ生徒は悔しさを滲  
ませていましたが、貴重な経験  
になったと思います。

以上が、昨年度の電気科の主  
な活動状況になります。同窓生  
の皆様には、電気科の活動に目  
を向けていただけるとうれし  
いです。また、ご指導ご助力ご  
言を頂けると、我々職員ならび  
に生徒にも励みになると思いま  
す。

今年度もどうぞよろしくお願  
いいたします。

## 情報技術科



主任 真田 郁夫

平成28年度は、1名の先生を  
迎え、6名で担当しております。  
担任は、1学年に石田 由紀子

教諭(数学)、2学年は矢澤教  
諭(理科)、3学年は小関裕  
一教諭(情報技術科)が担当し、  
クラス経営にあたっております。  
現在、全学年で119名の生徒  
が情報技術科に在籍しておりま  
す。

本校情報技術科が平成元年に  
設立され、28年目となりました。  
目まぐるしく変化している情報  
化社会の中で、常に新しい技術  
に注目しながら、基礎・基本を  
ベースに各分野で即戦力になれ  
る人材育成に取り組んでおりま  
す。

近年は、企業からの求人数も  
上昇傾向にあり情報技術科の3  
年生も県内外で良好な結果を得  
ております。今年も就職内定率  
100%を目指します。進学に  
おいても、地元をはじめ、様々  
な大学・専門学校等に進学して  
おります。

企業や学校においても、情報  
技術はすべての分野で活用さ  
れ、重要視されております。時  
代の変化に取り残されないよ  
う、常に新しいものに目を向け  
ながらも、基礎・基本を大切に  
した教育を、科職員全員で取り  
組んでいきたいと考えておりま  
す。

近年は各種OSを活用したプ  
ログラミングの実践演習、各種  
マイコンを活用したコンピュー  
タ制御技術など、1年生から3  
年生までの通した流れの中で実  
施していきます。  
生徒たちは今年度も、課外活

動や課題研究の活動を通し、各  
種資格取得に熱心に取り組み、  
ジュニアマイスター顕彰の受賞  
や各種コンテスト・コンクール  
への参加など、様々な場面で活  
躍しております。

これからも、生徒自身の将来  
を見据えた目標達成や自己実現  
へ向けた取り組みに対し、科職  
員一丸となって後押しをしてい  
きたいと思っております。日頃  
から、同窓会の皆様からは暖か  
いお言葉を頂戴しており、心か  
ら感謝申し上げます。今後とも  
後輩へのご支援、ご協力をお願  
い申し上げます。

### ◆各種大会などへの取組

- ・ コンピューターアイデアコン  
テスト
- ・ 高校生ものづくりコンテスト
- ・ 民家の甲子園 全国大会3位
- ・ 若年者ものづくり競技大会  
(ITネットワークシステム  
管理部門)

### ◆資格検定への取組

- ・ 電気通信工事担任者試験
- ・ ITパスポート
- ・ 基本情報技術者
- ・ 情報技術検定
- ・ パソコン利用技術検定

# 奮るえや会工の健男児 応援歌から

## 学び舎 ロケーション② 2016会工、鍛えの各部

### 陸上競技部

顧問 石崎 晃  
山田 賢  
益子 茂  
武田 厚彦

新入生の25名が新たに入部し、佐々木キャプテンを中心に、3年13名と2年14名の計52名(7月現在)で、あいつ陸上競技場を拠点とし、熱心に活動してい



る。あくまでも目標は、自己ベストの更新とインターハイ出場である。また、陸上競技をとおし、技術の向上や身心の鍛錬はもとより、社会性の涵養と人格の醸成を目指す。

### バドミントン部

顧問 鈴木 秀希  
井上 浩一



バドミントン部は、男子17名女子4名の計21名で活動しています。生徒によってバドミントン経験はそれぞれであり、小学生から取り組んでいる生徒もいれば高校生になって始めた生

### 卓球部

顧問 小林 憲司  
児島 二郎

徒もおります。実力や目標に差はあるものの、一生懸命取り組む姿勢は皆同じです。バドミントン部で活動することを通して、人間関係を築くことや他人と接する際の礼儀・マナーを学んでいます。それぞれが高い目標を持ち、それに向かって日々努力していきたいと思えます。

卓球部は、顧問の小林先生・児島先生のもと日々活動しています。現在3年生は引退しましたが、3年生6人、2年生8人、1年生12名の人が在籍しています。

今年度の結果はインターハイ地区大会では男子学校対抗(団体戦)で3位、男子ダブルスで安西・渡部組(2年)が2位、総体地区大会では男子学校対抗(団体戦)で2位、シングルスで齋藤直(3年)が3位の結果を残しました。他に各地区大会ではそれぞれシングルス・ダブルスでベスト8・16等で県大会に進出した選手もいましたが、



県大会では個人戦では1勝できる選手はいましたが、団体戦では今年度まだ勝利をつかむことができません、ひとつ勝つことで見える景色も変わってくると思っているので、県大会シングルスベスト16以上、男子学校対抗では初勝利できるように、日々の練習・強化大会・練習試合を通して技術の向上や精神面の向上に取り組みんでいます。そのため日々の練習では、スタミナをつけるために毎日行う外周(学校敷地の外を走るこ

と)や筋トレを行っています。他にはフットワークをよくするためにつらい多球練習や実際の試合を想定した実戦練習などを行っています。そして、実際に試合をしてダメだったところを直す課題練習などを行っています。このようにして日々の練習に取り組み、大会では好成績を残せるような選手になれるよう頑張りたいと思います。

### 野球部

顧問 小野 裕久  
鈴木 雅博  
村山 彰一



「練習は嘘をつかない」この言葉のもと、私たちは己に矢印

### サッカー部

顧問 江本 城幸  
小川 拓也  
栗田 克志  
高畑 利夫



高校サッカー選手権大会福島県大会の1次予選1回戦いわき海星高校に7対0、2回戦安達高校に2対1で勝利して、10月中旬に再開される2次大会に進出が決定しました。ベスト4以上を目標に強豪校を倒したいと考えています。また、福島県サ

を向けて、弱さを克服し、自己表現を重んじ、常に新しい自分へ進化していけるように努力しています。今後も精一杯取り組んでまいりますので、ご声援の程、宜しくお願いします。

ツカリーリーグ戦（F2リーグ）において3位以内に入り、2017年度はF1リーグに昇格したいと考えております。チーム一丸となって目標を達成できるように全力で頑張りますので、応援よろしく願います。

## 体操部

顧問 加藤 義勝

佐藤 文康

現在の部員数は、男子3年生3名・2年生1名・1年生3名で、マネージャー1名の合計9名で日々練習に取り組んでいます。

今年度の大会では、県高校大会団体・個人優勝、東北大会や全国大会に出場しました。

今後は今までの反省を生かして、技術面や精神面などのレベルアップを目指して、日々の練習に取り組んでいきたいと思えます。



## 水泳部

顧問 沢川 順一

岩澤 巖



水泳部は、競泳選手11名（3年6名、2年2名、1年3名）、飛び込み選手1名（3年）、マネージャー3名（2年1名、1年2名）で活動しています。冬季中はシーズンオフのため思うような練習はできませんが、5月の連休明けから活動が始まり、およそ4ヶ月の間に大会が集中して実施されます。昨年度に続き、本年度もインターハイ選手を2名（競泳3年佐藤隆之介、飛び込み3年安部萌未）だす実績を挙げました。今年から女子マネージャー2名が入部し、選手各人のタイムアップを目標に1人でも多くの上位大会出場を目標に頑張ります。

## 山岳部

顧問 川井 勉

菅家 慶広

山岳部は3年生3名、2年生1名、1年生5名の9名で活動しています。部員数が減少しているのですが、存続が危ぶまれていたが、1年生が5名入り安心しました。今年度は、三ツ岩岳、安達太良山、三本槍ヶ岳、飯豊山、北アルプス（燕岳、常念岳）と登ってきました。特に夏合宿の北アルプスでは、連日天候に恵まれ雄大なパノラマを体感しました。また今年度は山岳部OBより寄付をいただき、新しいメインザックで快適に縦走しています。少ない人数ながら数々の山々を登っていきまますので、今後ともご指導、ご支援をよろしく願います。



## バレーボール部

顧問 福島 広巳

湯田ときえ

山野 敏



バレーボール部は、男子が17名、女子が8名、マネージャーが2名の総勢27名で活動しています。休日は県外遠征や練習試合で他校のバレーボール部と切磋琢磨し、男女とも大会での勝利に向かって練習に励んでいます。また、先生方やOB等、多くの方々からご指導・ご助言をいただき大変お世話になっております。これからは、礼儀や感謝の心を大切にして、一人一人が人間力を磨き、チームワー

クを重視し、上位大会で活躍できるように、一丸となって努力していきたいと思えます。今後ともよろしく願います。

## バスケットボール部

顧問 寺島 弘幸

由田 桂一

星 明宏

バスケットボール部は、日々部員一丸となって、地区順位上位入りを目指して練習に取り組んでいます。3年生13名は、会工らしいプレーを貫き、一歩前進の闘いを展開して好位置を切り開いてくれました。また、マネージャーの2名も献身的にチームを支えてくれました。

夏以降、2年生9名（うちマネージャー1名）、1年生6名（うちマネージャー1名）と選抜大会まで残る3年生の2名を



## 硬式テニス部

顧問 齋藤 雅夫

後藤 真央

佐藤 直樹

テニス部は3年生3名、2年生9名、1年生8名で活動しています。テニスコートが学校に無いため、会津総合運動公園や鶴ヶ城のテニスコートを使用して練習を行っています。大会などでテニスコートを使用することができない日もあり、練習場所の確保にはいつも苦労しています。ですが、限られた時間の中で密度の高い練習をすることで、今年度はインターハイの会津地区大会でシングルス・ダブル

ルス・団体の3冠を達成し、団体としては5連覇を果たすことができました。

平成29年度には会津若松市でインターハイのテニス競技が開催されます。地元開催の全国大会に出場できるように、一層の努力をしていきますのでご指導、ご支援よろしく申し上げます。



### ソフトテニス部

顧問 渡邊 豊

本多 裕美  
菊地 壽雄

今年度は、男子8名、女子2名の新入部員を迎え、総勢22名で活動しています。学校にコートがないため、会津若松市のテニスコートで練習しています。技術だけでなく、メンタルの強化にも取り組み、一人一人が向上心を持って練習に取り組んでいます。



今年度は、インターハイ地区大会、新人戦地区大会の団体で好成績を残すことができました。県大会でも上位の成績を目指して日々練習に励んでまいりますので、ご支援よろしく申し上げます。

### スキー部

顧問 相原 正裕

茂木 敏幸

私たちスキー部は、現在アルペン種目3名、クロスカントリ種目2名の計5名で活動しており、福島県をリードするスキーチームとして全国レベルの各種大会で活躍する部活へと順調な成長を遂げております。

「少数精鋭」をモットーに、

### 空手部

顧問 境 僚太

佐久間智広  
永山小太郎

私たち空手部は、2年生2人1年生2人の4人で活動しています。3年生がいない部活ですが、顧問の先生にも恵まれました。充実した練習に励んでいます。

去年までは初心者だった2年生の実力も上達し、1年生も練習に慣れてきました。この調子で、県大会で1勝でも多く勝っていきたくです。そして来年度に猪苗代町で開催されるインターハイを目標に今まで以上に一杯練習に励んでいきます。



### 剣道部

顧問 近藤真由美

片寄 悦広



鳥影会長をはじめOB会各位には、日頃よりさまざまな形でご支援いただいております。特に心から御礼申し上げます。特に昨秋には試合用の袴を、今年度は生徒への竹刀を、さらに剣道場の改修工を終了に合わせ冷蔵庫を寄贈していただきました。

毎年恒例の夏合宿は、少人数の学校同士が集まって開催された合同合宿に参加しました。そ

### 柔道部

顧問 阿部 友一

渡部 哲

今年度も少数部員ながら、日々の稽古に全力で取り組み、上位大会に進出できるよう励んで参ります。今後とも先輩方のご支援ご協力をよろしく申し上げます。

平成28年度柔道部は、3年生3名、2年生4名、1年生2名の計9名で活動しています。少人数ではありますが、各自工夫しながら練習に取り組む、インターハイ県大会個人・団体とも



IH県大会 磐梯熱海温泉街の神社にて撮影

に出場することが出来ました。県総体は、4人が県大会出場しましたが思うような結果を残すことが出来ませんでした。この大会を持って3年生は引退となり、現在は2年生と1年生で各自創意工夫を凝らし、日々目標を持って稽古に励んでおります。学校近くにお越しの際は、是非柔道場にお越し下さい。お待ちしております。

## 弓道部

顧問 佐藤 慶一  
黒澤 静子  
中丸 淳

会津の冬は寒い。気温は零下10度を下回り、積雪は多いところで1メートルを超す。本校弓道場も冬場は一面雪で覆われる。毎日しんと雪が降り、矢道は真っ白に様変わりし、屋根からは大きな雪塊が音を立てて崩れ落ちる。的前には全面ヒートシート、床には断熱シートを貼り、冬場の練習に向けた防寒対策を施す。それでも冷気を完全に防ぐことはできない。体温を奪われ、手先は悴み、思うように弓が引けない日々が続く。白い息と寒さに震えながら会津の生徒は今日も自分の射と向き合っている。



現在、部員数は男子15名、女子6名の計30名。保護者やOBなど多くの人々に支えられて活動している。

会津工業の弓道を一言で表せば「努力の集大成」である。その弓は日々の研究と矢数によって磨かれる。生徒は真剣に弓を教わり、書籍を通じて射法を研究する。矢数は多いもので平日100射、休日200射近くかける。言葉を発さず一心不乱に弓を引く姿は、まさに本校校歌の中にある「至誠勤労」を体現したものである。部員の一人一人が弓道に対する情熱を持ち、それらが彼らを動かす原動力となっている。

平成27年度、本校弓道部は大躍進の年であった。県新人戦第3位、県選抜大会優勝の成果を収め、東北高等学校選抜大会、全国高等学校選抜大会、東日本高等学校弓道大会の出場権を獲

得した。平成28年度県IHでは惜しくも全国大会出場を逃したものの福島県で第2位に輝き、東北弓道選手権大会の出場権を獲得した。

## ボクシング部

顧問 長谷沼 徹  
小林 毅之

昨年度は、5名いた3年生が卒業し、2年生の選手1名、女子マネージャー1名で部活の存続が危ぶまれましたが、今年度、一年生9名（1名女子マネージャー）が入部し、11名でのスタートとなりました。

練習場は北3棟3階で、日々の練習は放課後、基礎的なトレーニング・実践的なトレーニングを日替わりで2時間程度、休日は基礎的・実践的なトレーニングを4時間位実施しています。また、校内の合宿や県内・県外合宿も多く実施しています。7月末に広島県で開催されたインターハイに3年生1名の選手が参加しました。結果は、1回戦で鹿児島工業の選手に勝つことができたが、2回戦で岐阜県の中京高校の選手に負けました。

また、8月に開催された、東北総合体育大会では、成年は国体の出場を獲得しましたが、少年は参加を逃してしまいました。来年度には「はばたけ世界へ 南東北総体 2017」が開催され、繋がる絆 魅せよう 僕らの若い力」をスローガンに会津若松市でボクシング競技が開催されます。

向上心を胸にこれからも部員と顧問が一体となって練習に励み結果を残し、平成29年度、地元開催のインターハイの礎にして行きたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。

生活科学同好会  
顧問 内藤美恵子  
食意識に関心の強いメンバーで構成され、都合のつく無理のない時間帯で、定期的に実習します。和・洋・中何でも挑戦します。限られた予算内で食材を調達し和気あいあいと実習し

楽しく頂きます。そんなことが家庭に反映され、生活力のつく同好会です。実習内容は自分たちで企画し、前回のスタッフドビーマンとポテトサラダは教頭先生にも好評でした。ウエルカムクッキングから始まりクリスマスクッキング、卒業祝いクッキング、進級祝いクッキングと続きます。さて、今度はどんなメニュー内容が登場するのでしょうか。



## 建築インテリア部

顧問 高橋 弘光

建築インテリア部の主な活動は、8月上旬に実施される国家資格となる技能検定3級建築大工の合格を目指して、学科及び実技試験の勉強と練習をします。今年度は11名が合格しました。10月下旬には高校生ものづくりコンテストがあり、これに出場する者が練習に励んでいる



とところです。7月と10月には高度熟練指導者の先生を招いて、部員と受講希望の生徒20名が累積10日間に渡り技術の指導を仰いでいます。全ての練習は材料の作成から必要であり、また他校間との交流授業の準備など大変ではありますが頑張っています。今後ともよろしくお願致します。

## 電気部

顧問 阿部 昇二

今年度の電気部は3年生3名、2年生3名、1年生8名の部員で構成され、指導は顧問をはじめ電気科の職員が担当しています。年間を通じた活動として、新入生に対する部活動紹介(4月)、第2種電気工事士筆記試験(6

月)、第2種電気工事士技能試験・中学生体験入学における電気科の紹介(7月)、第1種電気工事士筆記試験・ものづくりコンテスト(10月)、第1種電気工事士技能試験(12月)などです。とりわけ電気部では「各種資格取得」と「ものづくりコンテスト」に力を入れています。また電気部の特長として上級生が率先して下級生の面倒を見ることが挙げられます。

その具体的な活動の一つとして、第2種電気工事士技能試験の課外授業において、1年生が全員合格できるよう練習用の材料の準備や実技指導を行っています。上級生の懇切丁寧な指導を通して、問題の把握と解決方法を習得することができます。



ものづくりコンテスト 上級生からの指導

### 機械研習部

カート班顧問 高橋 浩二  
他機械科職員 大竹 良宣  
ロボット班顧問 他機械科職員



機械研習部カート班は省エネ(ガソリンエンジン・モーター)自作自動車の競技に毎年参加させていたいております。5月初旬にはワールド・エコノ・ムーブ2016(電気自動車競技・秋田県)ではジュニアの部12位、6月下旬に1年生部員のデビュー戦として本田宗一郎杯Hondaエコ・マイレッジ・チャレンジ2016もてぎ大会(ガソリンエンジン競技・栃木県)では566kmを走り、10月初めには本田宗一郎杯Hondaエコ・マイレッジ・チャレンジ2016第36回全国大会(ガソリンエンジン競技・栃木県)

に参戦し、高校生クラス・2人乗りクラス共に記録・入賞を目指し頑張りますので応援よろしくお願ひします。

### ロボットの活動



主に毎年行われている県高校ロボット競技大会に向けて製作しています。今年は9月27日に行われますが奇抜なアイデアを出し合います。また操作練習をしっかりと行い今年こそは全国大会を目指し頑張りたいと思います。また、11月には喜多方市押切川体育館でのロボコン2016inあいつ喜多方シリーズにも出場し入賞を目指します。応援よろしくお願ひします。

### セラミック化学部

顧問 大濱 達明  
熊田 志郎  
今年度のセラミック化学部の活動は美展の制作や、ろくろ技能

検定、会津本郷せと市、お茶会ミニ陶芸教室などの活動を行いました。

会津美展では4人出展し、2名が青少年奨励賞を頂きました。3年生の梶内雄介君「寂曜」、副部長の渡部大地君「曜碧」でした。

部員は12名になり、1年生も4人入りがんばっています。地域支援の活動をこれからも本格的に行っていきたいと思ひます。



### IT研究部

顧問 真田 郁夫  
山本 義文  
IT研究部は情報技術科の生徒で構成されている部活です。放課後に情報技術科の電子計算機実習室で活動しています。メンバーは1年生から3年生まで実に幅広く個性豊かな生徒が在籍しています。

昨年は、民家の甲子園全国3位や若年者ものづくり競技大会(ITネットワークショップステム管理部門)への参加など全国規模の大会へ参加しました。その他にもCIRC(コンピュータアイデアコンテスト)や高校生ものづくりなどの福島県が主催する大会へも参加しました。

また、会津大学や地元企業と連携し、勉強会や研究協力も行っています。

IT研究部のメンバーは、優秀でまじめな生徒がそろっているため、今後は今まで以上に活発な活動をしたいと思ひます。応援よろしくお願ひします。

### 美術部

顧問 佐瀬 和久  
岩淵 浩之  
美術部では、展覧会やコンクールに向けた作品制作に日々取り組んでいます。今年度の活動としては、6月「まんが甲子園」に出品し本大会出場は逃したものの、記念品としてペンタフレットを頂きました。7月「会津地区高校美術連盟展」に7名参加、計8作品出展しました。今後の予定としては、10月会津稽古堂で行われる「U・18の作品展」、12月郡山文化センターで行われる「県高校美術展」、1月下旬から喜多方市立美術館に於いて「高校生、あいつ美術展」が開催されます。現在3年生が中心となって製作に取り組んで

いますが、今年中に1、2年生に引き継ぎ、絵画やデザイン作品制作に励んでいきたいと思ひます。



### 演劇部

顧問 石田由紀子  
品川 実香  
演劇部は現在、3年生が進路活動のために休部しており、1・2年生を中心に活動しています。9月には、唯一上位大会が存在する「秋のコンクール」があるので、現在はそれへ向けて基礎力の強化を行っているところです。発声・滑舌を良くする練習や既成脚本を使って表現力を養う練習を行っています。大会用の脚本が完成した後は、ひたすら脚本を読みこなし、役作り、劇作りをしていきます。3年生も忙しい合間をぬって見に来て下さるので、心強い気持ちで練習に取り組んでいます。

私たちの今後の目標は、先輩方が成しえなかった県大会、東北大会へ出場することです。そのために、代々受け継がれてきた「互いを信頼し、楽しみながら納得のいく演劇をつくること」を念頭に置き、頑張っていきます。



## 写真部

顧問 神田 美香  
滝沢 全

私達写真部は、総勢58名で活動しています。昨年は高文連県写真展が会津若松市文化センターで行われ、事務局校として運営に携わり写真展を無事成功させることができました。

今年はそのような大きな行事はないので、校内の写真撮影会や発表会を活発に行うことができ、撮影技術の向上と部員の交



会津地区合同撮影会にて

流を深めることができている。7月には会津地区合同の撮影会で新潟西港に行ってきました。他校の写真部員との交流もとてもいい刺激になりました。今後は、会津地区や県の写真展に向けて、より高度な技術を身に付け入賞できるように頑張っていきたいと思っています。

## アマチュア無線部

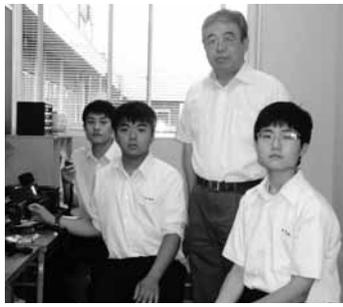
顧問 村田 光夫

今年の部員は、3年生2名、1年生2名の3人で始まりました。3年生は免許を持っていないため、1年生は持っていません。8月の文化センターで行われる養成講習会に参加して免許を取得する予定です。今年度、生徒会の特別予算で新たに無線機1台を購入しました。これは、平成29年度に訪れる新スプリアス規定に準ずるためのものです。これから、コンテストや一般交信に向けて大いに活用して

いきたいと思っています。

アマチュア無線クラブの活動としては、アンテナの整備、シヤック(部室)の清掃、受信・交信練習などです。7月3日に行われた6m AND DOWNコンテストに初めて参加し、今まで交信未経験の生徒たちも何とか交信に成功し、全国のアマチュア無線家の人たちと親睦を深めたようです。8月4日には全国工業高等学校長協会無線部主催の第5回小型人工衛星打上に関わる電波受信実験に参加しましたが、筑波山山頂から出されるわずか100mWの電波は会津には届きませんでした。

3人というわずかな人数ですが、中身の濃い活動を今後もしていきたいと考えています。JARL(日本アマチュア無線連盟)にも加入して、いつでもカード交換ができる状態になっています。アンテナもHFから430まで整備済みです。諸先輩方でアマチュア無線をやられている方がおられましたら、つながったときはよろしくお願ひ



たします。こちらは、JAFYCB会津工業高校アマチュア無線クラブです。

## 吹奏楽部

顧問 高橋 温仁  
小関 裕一  
品川 美香



今年も新入部員10名を加えてスタートしました。他校の吹奏楽部が次第に女子化していく中、女子みだいな男子を多数保有する貴重な存在の部です。主な活動として夏のコンクール、10月の定期演奏会、12月のアンサンブルコンテストなどです。赤点寸前の点数でギリギリの活動を続ける〇長を先頭に意味不明な3年生、そんな上級生を冷やかな視線で攻撃する2年生、そして、まあ、1年生

というメンバーを優秀すぎて余りある顧問団がテキパキとフォローする、そんな集団で毎日楽しく過ごしています。

## 英会話部

顧問 伊藤 順子

私たち英会話部は、伊藤先生、ALTのローリー先生と一緒に毎週金曜日の放課後に活動しています。いつも、ゲームをしています。花見などにも行き楽しく活動しています。

また、英検取得を目標に日々英語力の向上に努めています。



## 茶道同好会

顧問 佐藤 みき

茶道同好会は発足から4年目を迎えます。今までは少人数で活動してきましたが、今年度は



会員が大幅に増えて14名になりました。毎年恒例の会津美里町「ふれあい茶会」では、学生茶席でお手前を披露し、新聞などでも紹介されています。また「あやめ祭り」にも参加し、地元の方がたと交流しています。昨年度は日頃の活動が認められ、東邦銀行教育文化財団から高校生対象の文化・教育活動助成金の交付を受けることができました。ようやく自分たちの風炉・茶釜を持てるようになり、秋に行われた公開文化祭では、その茶道具を使ってお茶会を開き、多くの方にお茶を楽しんでもらいました。これからも、お茶会や行事に向けて、さらに精進していこうと励んでいます。





# 部活動大会結果報告

●第51回福島県高等学校新人体育大会  
水泳競技大会

200m自由形 4位 鈴木 啓太  
400mフリースタイル (東北大会出場) 18位  
(2年鈴木啓太、湯田剛司、1年小向佑典、鶴巻政紘)

100m自由形 8位 小向 佑典  
50m自由形 43位 湯田 剛司  
100m自由形 6位 鈴木 啓太

200m平泳ぎ 35位 天野 世那  
19位 鶴巻 政紘  
22位 天野 世那

●福島県高等学校体育大会水泳(飛込)競技大会

女子高飛込 1位 安部 萌末  
女子3m飛板飛込 1位 安部 萌末  
女子総合 会津工業高校 1位

●全会津総合体育大会(飛込)競技大会  
高校女子3m飛板飛込 1位 安部 萌末  
高校女子1m飛板飛込 1位 安部 萌末

●第64回東北高等学校水泳競技大会  
女子高飛込 2位 安部 萌末  
3m飛板飛込 2位 安部 萌末

●第71回東北水泳大会  
女子1m飛板飛込 3位 安部 萌末  
●第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳(飛込)競技大会

東北ブロック予選会  
女子16歳高飛込 2位 安部 萌末  
女子16歳3m飛板飛込 2位 安部 萌末

●山岳部  
平成28年度福島県高等学校体育大会  
会津地区登山大会

三ツ岩岳 10名参加  
●第62回福島県高等学校体育大会  
安達太良連峰 4名参加  
●平成28年度福島県高等学校新人体育大会

大会会津地区登山大会 6名参加  
会津駒ヶ岳

●第52回福島県高等学校新人登山大会  
浅草岳 6名参加

●ハレーボール部

●第62回福島県高等学校体育大会  
津地区大会 第2位

●第62回福島県高等学校体育大会  
予選リーグ戦敗退  
●第66回全会津総合体育大会  
予選リーグ戦敗退

●第69回福島県総合体育大会  
2回戦進出(ベスト16)

●天皇杯・皇后杯全日本ハレーボール選手権 福島県ラウンド  
1回戦敗退

●全会津高等学校ハレーボール選手権大会  
1回戦敗退

●福島県高等学校新人体育大会  
地区大会 第11位

●福島県高等学校新人体育大会  
12月開催  
●第62回福島県高等学校体育大会バスケットボール競技会津地区大会  
地区第5位

●平成28年度第62回福島県高等学校体育大会バスケットボール競技  
1回戦敗退

●平成28年度第66回全会津総合体育大会バスケットボール競技  
地区第4位

●平成28年度第69回福島県総合体育大会バスケットボール競技  
2回戦敗退

会バスケットボール競技  
2回戦敗退

●平成28年度第53回福島県選抜高等学校バスケットボール選手権会津地区大会  
地区第4位

●硬式テニス部

●第12回全会津春季ジュニアテニス選手権大会  
U18男子シングルス 第3位 小林 雄太(3I)

●第33回福島県ジュニアシングルス選手権大会  
U18男子シングルス 第1位 柴野 日祐(癸)

●第69回福島県総合体育大会テニス競技(少年の部)  
I部男子シングルス 第1位 小林 雄太(3I)

●第66回全会津総合体育大会テニス競技(少年の部)  
I部男子シングルス 第1位 神村 龍飛(2M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子シングルス 第1位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子ダブルス 第1位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子シングルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子ダブルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子シングルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子ダブルス 第2位 池田 剛希(1M2)

2回戦進出 小林 雄太(3I)

3回戦進出 池田 剛希(1M2)

●第66回全会津総合体育大会テニス競技(少年の部)  
I部男子シングルス 第1位 神村 龍飛(2M2)

●第69回福島県総合体育大会テニス競技(少年の部)  
I部男子シングルス 第1位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子シングルス 第1位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子ダブルス 第1位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子シングルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子ダブルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子シングルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子ダブルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子シングルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子ダブルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第62回福島県高等学校体育大会テニス競技  
男子シングルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第50回福島県高等学校新人テニス選手権大会会津地区大会  
男子シングルス 第2位 池田 剛希(1M2)

●第50回福島県高等学校新人テニス選手権大会  
男子ダブルス 第1位 池田 剛希(1M2)

●第50回福島県高等学校新人テニス選手権大会  
男子シングルス 第1位 池田 剛希(1M2)

●第50回福島県高等学校新人テニス選手権大会  
男子ダブルス 第1位 池田 剛希(1M2)

●平成27年度全国高等学校選抜スキー大会(アルペン競技)  
女子大回転 第1戦 3位 大嶋 柚

●平成27年度全国高等学校選抜スキー大会(アルペン競技)  
女子大回転 第2戦 5位 大嶋 柚

●平成27年度全国高等学校選抜スキー大会(アルペン競技)  
女子大回転 第3戦 5位 大嶋 柚

●平成27年度全国高等学校選抜スキー大会(アルペン競技)  
女子大回転 第4戦 5位 大嶋 柚

●平成27年度全国高等学校選抜スキー大会(アルペン競技)  
女子大回転 第5戦 5位 大嶋 柚

●平成27年度全国高等学校選抜スキー大会(アルペン競技)  
女子大回転 第6戦 5位 大嶋 柚

●平成27年度全国高等学校選抜スキー大会(アルペン競技)  
女子大回転 第7戦 5位 大嶋 柚

●平成27年度全国高等学校選抜スキー大会(アルペン競技)  
女子大回転 第8戦 5位 大嶋 柚

●平成27年度全国高等学校選抜スキー大会(アルペン競技)  
女子大回転 第9戦 5位 大嶋 柚

クラブガイド

# 部活動大会結果報告

女子大回転・回転 優勝 大嶋 柚  
 ●平成27年度県高校体育大会スキー大会(クラシカル競技)  
 10 KM フリー 優勝 鈴木 蓮  
 3位 阿部 直希

10 KM クラシカル 優勝 鈴木 蓮  
 3位 阿部 直希

●平成27年度県総合体育大会スキー競技会(アルペン競技)  
 女子大回転・回転 2位 大嶋 柚  
 ●平成27年度県総合体育大会スキー競技会(クラシカル競技)  
 10 KM クラシカル 優勝 鈴木 蓮  
 10 KM クラシカル 2位 阿部 直希

●平成27年度県高校新人スキー大会(アルペン競技)  
 男子大回転 2位 藤田 知幸  
 ●平成27年度県高校新人スキー大会(クラシカル競技)  
 10 KM 2位 阿部 直希  
 3位 波田野寛大

●第62回福島県高等学校体育大会・空手競技  
 団体組手 予選リーグ敗退  
 個人組手 2回戦敗退 佐藤 嵩馬  
 1回戦敗退 清水 優斗

●第69回福島県総合体育大会空手道競技大会  
 個人組手 3回戦敗退 佐藤 嵩馬  
 1回戦敗退 本田 裕士  
 1回戦敗退 清水 優斗  
 1回戦敗退 須佐 拓哉

●平成28年度福島県高等学校体育大会 剣道競技会津地区大会  
 男子個人 ベスト16  
 2回戦進出 小山 斗真  
 2回戦進出 庄子 拓未  
 1回戦敗退 長澤 佑樹  
 1回戦敗退 星 拓磨  
 1回戦敗退 森田 大樹  
 1回戦敗退 羽金 夏輝

男子団体戦 1回戦敗退 小平 陸  
 1回戦敗退 角田 昂太  
 7位(県大会出場)  
 ●平成28年度全会津総合体育大会剣道競技  
 男子団体戦 1回戦敗退  
 男子団体戦 予選敗退

男子個人 ベスト16  
 2回戦進出 小山 斗真  
 2回戦進出 森田 大樹  
 1回戦敗退 鈴木 魁人  
 1回戦敗退 羽金 拓輝  
 1回戦敗退 庄子 拓未  
 3回戦進出 角田 昂太  
 1回戦敗退 長澤 佑樹  
 1回戦敗退 小平 陸

●平成28年度福島県高等学校新人体育大会 大会剣道競技会津地区大会  
 男子団体戦 予選敗退  
 男子個人 2回戦進出 小平 陸  
 1回戦敗退 羽金 夏輝  
 男子個人 2回戦進出 庄子 拓未  
 1回戦敗退 長澤 佑樹  
 3回戦進出 角田 昂太

●平成28年度福島県高等学校体育大会 柔道競技会津地区大会  
 男子100kg超級 1位 末永 蓮  
 男子90kg級 2位 五十嵐隆徳  
 男子73kg級 3位 佐藤 遥佳  
 女子57kg級 3位 佐藤彩也音  
 男子団体戦 3位

●第62回福島県高等学校体育大会柔道競技  
 男子100kg超級 1回戦敗退 末永 蓮  
 男子90kg級 1回戦敗退 五十嵐隆徳  
 男子73kg級 1回戦敗退 佐藤 遥佳  
 女子57kg級 1回戦敗退 佐藤彩也音  
 男子団体戦 1回戦敗退

●第66回全会津総合体育大会柔道競技  
 無差別の部 2位 末永 蓮  
 中堅の部 4位 五十嵐隆徳  
 先鋒の部 4位 木村 翼  
 中堅の部 4位 仲島 晴海

●第69回福島県総合体育大会柔道競技  
 無差別の部 1回戦敗退 末永 蓮  
 中堅の部 1回戦敗退 五十嵐隆徳  
 先鋒の部 1回戦敗退 木村 翼  
 中堅の部 1回戦敗退 仲島 晴海  
 ●平成28年度福島県新人体育大会柔道競技会津地区予選  
 男子90kg級 2位 五十嵐隆徳  
 男子60kg級 3位 木村 翼

●第62回福島県高等学校体育大会弓道競技会津地区大会  
 男子個人 第3位 宮森大夢(3M1)  
 出場 高橋勝樹(3M1)  
 男子団体 第3位

●第66回全会津総合体育大会弓道競技少年の部  
 男子個人 第1位 東原啓太(3E)  
 第4位 大塚 駿(3M2)  
 男子団体 第1位 会津工業Bチーム  
 第2位 会津工業Aチーム  
 ●第69回福島県総合体育大会弓道競技少年の部  
 男子団体 第6位 会津工業Aチーム  
 男子団体的の部 第6位 会津工業Bチーム  
 ●第54回福島県高等学校新人体育大会弓道競技会津地区大会  
 男子個人 県出場 富岡広和(1A)  
 県出場 佐藤磨輝(1C)  
 男子団体 優勝  
 ●第54回福島県高等学校新人体育大会弓道競技 第6位

●第62回福島県高等学校体育大会弓道競技  
 男子個人 第3位 大塚 駿(3M2)  
 技能優秀賞 大塚 駿(3M2)  
 男子団体 第2位  
 ●第46回東北高等学校弓道選手権大会  
 男子個人 出場 大塚 駿(3M2)  
 男子団体 ベスト8

●第66回全会津総合体育大会弓道競技少年の部  
 男子個人 第1位 東原啓太(3E)  
 第4位 大塚 駿(3M2)  
 男子団体 第1位 会津工業Bチーム  
 第2位 会津工業Aチーム  
 ●第69回福島県総合体育大会弓道競技少年の部  
 男子団体 第6位 会津工業Aチーム  
 男子団体的の部 第6位 会津工業Bチーム  
 ●第54回福島県高等学校新人体育大会弓道競技会津地区大会  
 男子個人 県出場 富岡広和(1A)  
 県出場 佐藤磨輝(1C)  
 男子団体 優勝  
 ●第54回福島県高等学校新人体育大会弓道競技 第6位

●第25回全国高等学校漫画選手権大会まんが 5人1組参加、予選敗退  
 ●高校生グランプリ2016  
 キヤラクターデザイン 1名応募、落選  
 ●まちなかアートプロジェクト2016  
 絵画、イラスト 4作品出展

●第62回福島県高等学校体育大会ボクシング競技  
 ライトウェルター級 1位 羽賀 勝利  
 ●第70回東北高等学校ボクシング選手権大会  
 ライトウェルター級 3位 羽賀 勝利  
 ●第69回福島県総合体育大会ボクシング競技  
 ライトウェルター級 1位 羽賀 勝利  
 ●第70回全国高等学校ボクシング選手権大会  
 ライトウェルター級 2位 羽賀 勝利

●第43回東北総合体育大会ボクシング競技  
 ライトウェルター級 2位 羽賀 勝利

●カート班  
 ●ワールド・エコノ・ムーブ 2016 大潟大会  
 総合 ジュニアクラス 26位  
 12位  
 ●本田宗一郎杯Hondaエコ・マイレッジ・チャレンジ2016 もてぎ大会  
 グループII(高校生クラス) 14位  
 1リッターあたり566.742km/ℓ  
 ●本田宗一郎杯Hondaエコ・マイレッジ・チャレンジ2016 第36回全国大会  
 グループII(高校生クラス) 34位  
 1リッターあたり613.992km/ℓ  
 2人乗りクラス(一般・高校生) 3位入賞  
 1リッターあたり 352.835/ℓ

●ロボット班  
 ●第25回福島県高等学校 ロボット競技大会 11位

●第30回会津地区美術連盟展  
 イラスト、絵画、切り絵 6人、7作品出展

●吹奏楽部  
 ●福島県吹奏楽コンクール会津支部大会  
 高等学校小編成の部 銀賞  
 ●福島県吹奏楽コンクール  
 高等学校小編成の部 金賞

●演劇部  
 ●平成28年度会津地区高等学校演劇連盟 秋のコンクール 優秀賞第3席



3年に一度の体育祭

会工応援歌

頑張れ応援歌

一、鶏鳴三度地に鳴きて  
会陽の地の朝ぼらけ  
緋緘鎧ふ若武者が  
血潮高鳴る胸の鼓動

二、おお胸躍る白虎の血潮  
世々受け嗣ぎし会津魂  
金瓯馬は芳草の  
野に嘶くと謳わずや

三、今混沌の末の世に  
重き使命はこれなりと  
浮薄の俗を払うべく  
鍛えし選手の腕見よ

四、淡き憂に暮近く  
紫紺の夕の鐘の音に  
唐紅の口を漏る  
歓喜のどよめきかまほし

五、春繚乱の花吹雪  
秋荒涼の夕間暮  
たゆまず歩みし足跡は  
今彼の地にて現われん

頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男子  
栄ある健児よ 理想の盾をば振りかざし  
破邪の剣とりて起て 打てやこらせや  
我等が敵を  
勝ちて勇姿を世界に示すは この秋ぞ  
奮るえや 会工の健男児  
フレー フレー フレー

会工賛歌（創立百周年記念歌）

作詞 会工高・100周年記念事業実行委員会  
作曲 Wataru Hokoyama (鋒山 亘)

一、あおぐ磐梯 我らの母校  
いま黎明の 思い新たに  
さあ進もうよ 真理もとめて  
青春かがやけ 会工さわやかに

二、数えきれぬ 出会いと別れ  
汗と涙と 友情はぐくみ  
さあ語ろうよ 明日をみつめて  
青春かがやけ 会工うつくしく

三、挑むころ 無限に広く  
知恵を出し合い 技をみがいて  
さあ創ろうよ 夢をかたちに  
青春かがやけ 会工たくましく

2016職員人事

お世話になりました。

□転出者 ○転出先

二瓶 益幸 校 長 退 職	二瓶 賢一 校 長 白河実業高校
西坂美穂子 教 諭 退 職	高橋 進一 教 頭 教育センター
佐藤 哲夫 再任教諭 退 職	湯田ときえ 常勤講師 田島高校
高畑 孝雄 主 査 退 職	片寄 悦広 教 諭 葵高等学校
吉田 佑平 時間講師 退 職	本多 裕美 教 諭 湯本高校
中野 善司 教 諭 喜多方桐桜高校	武田 厚彦 期付実習助手 埼玉県
鈴木 稔 教 頭 小高工業高校	菊地 大志 時間講師 大沼高校
八巻 勤 教 諭 福島高校	佐瀬 和久 教 諭 浪江高校
齋藤 正志 教 諭 会津高校	佐藤 良美 教 諭 葵高校
田中 哲 教 諭 喜多方桐桜高校	寺島 弘幸 教 諭 勿来工業高校
大塚 正幸 教 諭 郡山北工業高校	石崎 晃 教 諭 郡山北工業高校
田中 公雄 教 諭 喜多方桐桜高校	山野 敏 (再)教諭 二本松工業高校
石本 智道 教 諭 清陵情報高校	岩沢 巖 教 諭 喜多方桐桜高校
横田 円佳 常勤講師 相馬東高校	栗田 克志 実習教諭 喜多方桐桜高校
藤澤 健一 常勤講師 千葉県	菊地 壽雄 常勤講師
根本 直樹 期付実習助手 郡山北工業高校	小川 拓也 常勤講師
伊藤 望 事務長 若松商業高校	真田 郁夫 教 諭 喜多方桐桜高校
二瓶 優 学校司書 県立図書館	根本 幸雄 事務長 南会津病院
矢内 吉美 専門員 会津教育事務所	穂積 奈歩 主 事 新採用
片野加奈子 実習助手 産休・育休	神谷 祥平 学校司書 県立図書館
	菅野 柳子 臨時事務補助員

※継続 小林 毅之(常勤講師 地歴公民)  
山本 義文(再任用実習助手 工業(情報技術))









# 各支部役員名

地区	役職	名前	卒業年	地区	役職	名前	卒業年	地区	役職	名前	卒業年	
東京	名誉顧問	室井忠六	S24T	近畿	副会長	石川善一	S39E	坂下	副会長	伊藤隆	S29A	
	顧問	目黒道男	S23T		事務局長	本名雄一	H13E		顧問	佐藤悦朗	S32K	
	顧問	五十嵐栄	S24T		会計監査	高安達	S35K		顧問	高久俊昭	S35A	
	顧問	小池清	S34T		顧問	眞達君雄	S37T		幹事長	渡部正司	S47D	
	顧問	鶴川平四郎	S21L		常務理事	荒井栄吉	S31T		副幹事長	飯塚裕	S52T	
	顧問	石見勝雄	S25C		顧問	細堀辰也	S34M		副幹事長	甲斐光威	S49A	
	顧問	岡島文弘	S29C		顧問	黒川尚	S23T		幹事	武藤寛	S45C	
	顧問	田場川善雄	S27M		顧問	秋山善彦	S33K		顧問	山内秀記	S44A	
	顧問	菅家忠平	S26E		顧問	信野昭	S35A		顧問	五十嵐克博	S52M	
	顧問	岡村進	S32E		顧問	小林清治	S42T		顧問	遠藤幸喜	S59A	
	顧問	金子昌輝	S32A		若松	顧問	吉田一榮		S20K	顧問	長峯秀之	H06E
	顧問	五十嵐昭夫	S35A			顧問	坂内茂男		S32K	顧問	岡崎直樹	H08D
	会長	田中健一	S42E			顧問	若狭春生	S38K	顧問	大堀利文	H11A	
	副会長	堀雅宏	S36E			顧問	藤田晴史	S40E	顧問	田中知徳	H14F	
	顧問	伊藤孝行	S38M			会長	浅田誠	S43E	顧問	谷澤敏寛	H16M	
	幹事長	戸野部武彦	S40M			副会長	渡部洋于	S32K	庶務・会計	梨子本傑	S41K	
	副幹事長	石綿弘	S34T			顧問	菊地良三	S37E	顧問	鈴木美保	S60A	
	顧問	芳賀勝義	S35L			顧問	小山源昭	S38A	監査	北島義喜	S52C	
	顧問	水上強	S46M			顧問	栗城和夫	S41M	顧問	中島和一	S50K	
	顧問	渡部雅俊	S44M			顧問	曾根賢治	S36L	事務局長	梨子本傑	S41K	
	顧問	鈴木政彦	S41G		顧問	渡部昭寿	S34E	猪苗代	顧問	菅沼淳一	S36E	
	会計幹事	内川義則	S43E	幹事長	田勢光夫	S51A	顧問		山口一男	S37A		
	顧問	邊見輝夫	S34K	常任幹事	小林清	S28A	副会長		鈴木輝男	S31L		
	顧問	山田利廣	S43K	顧問	関場一宏	S33K	顧問		江花俊和	S37T		
	常任幹事	猪俣和男	S41T	顧問	田中祥一	S36A	事務局長		江花祥雄	S49G		
	顧問	五十嵐清夫	S33K	顧問	二瓶正人	S37K	事務局次長		吉田聡	S52A		
	顧問	渡辺満	S36K	顧問	佐藤義之	S42M	幹事長		長谷川与一	S40E		
	顧問	齋藤博正	S37K	顧問	荒川富士雄	S43M	庶務		小檜山勲	S49A		
	顧問	石本清八	S39K	顧問	近藤信行	S40E	会計		斎藤憲郎	S49G		
	顧問	高木博康	S44K	顧問	渡部優生	S55M	監査		五十嵐正義	S48M		
	顧問	秋山利光	S31C	顧問	藍澤弘幸	S58A	顧問	古川勇一	S48M			
	顧問	坂本栄吉	S40A	顧問	小白武男	S45A	西会津	顧問	山本幸助	S27T		
	顧問	杉山正行	S40A	顧問	風間誠一	S46E		副会長	鈴木仁夫	S21M		
	顧問	内芝良吉	S46A	顧問	坂内美佐子	S50C		副会長	小柴龍夫	S33M		
	顧問	山内尚	S35C	顧問	菅原正晴	S51A	事務局長	飯沢義広	S31E			
顧問	佐藤武	S37C	顧問	菊地登貴雄	S52M	湯川	顧問	山口瑞穂	S13T			
東海	相談役	佐瀬一信	S26E	顧問	渡部恵千子		H06D	顧問	菅沼章生	S29C		
	顧問	中村伊佐夫	S30E	庶務	小林毅史		H12M	顧問	佐野常雄	S31E		
	顧問	羽生辰喜	S31A	会計	荒明正義		S30E	顧問	佐野常雄	S31E		
	顧問	鈴木力夫	S31T	監事	安藤昭男	S35T	幹事	星康生	S41M			
	顧問	平山充	S31T	郡山	顧問	荒井久	S18T	会津美里	顧問	横山嘉夫	S26M	
	顧問	星芳雄	S36E		顧問	金田寛	S21M		顧問	高羽芳満	S20K	
	顧問	笠間忠英	S35A		副会長	福地勝	S30M		顧問	渡部敬守	S30K	
	名誉会長	浅沼定雄	S33K		顧問	渡部節夫	S16K		副会長	栗木俊昭	S45D	
	会長	三井正春	S41A		顧問	藤沼嘉典	S32T		顧問	松本誠	S39K	
	副会長(会長補佐)	古川春樹	S41G		幹事長	佐藤亨	S38C		顧問	水野俊彦	S39K	
	副会長	遠藤素弘	S35T		会計	藤井徹哉	S58D		幹事長	荒井誠一	S49A	
	顧問	山内憲三	S36T		事務局長	津田進	S29K		顧問	野中寿勝	S50E	
	顧問	早川茂	S45A		事務局長	泉田和男	S25C		顧問	平野光治	S40G	
	顧問	渡辺雄三	S44M		幹事	玉木一彦	S38T		顧問	兼子徳嗣	S31A	
	顧問	佐藤勝美	S56M	顧問	渡辺寛二	S38C	顧問	木村俊一	S48K			
	顧問	安部琢美	S58A	顧問	佐藤友穂	S42D	いわき	顧問	大川原昌之	S28E		
	会計幹事長	五十嵐強	S48M	顧問	小柴久治	S24M		顧問	上野哲	S28A		
	会計幹事	白石元隆	S42E	顧問	星榮佑	S18M		顧問	佐野容昭	S32E		
	顧問	中村訓	S45M	顧問	星武	S27E		顧問	梅宮昭	S39A		
	顧問	平栗男	S30K	顧問	二瓶嘉人	S39E		顧問	矢沢行恵	S34A		
	顧問	星野勝	S31T	顧問	細野敏充	S39E		顧問	佐々木志津雄	S37M		
	書記	村山幹夫	S41M	顧問	神田信之	S31M		顧問	安部雅信	S37L		
	顧問	大野範章	S43T	常任幹事	佐藤実	S27E		顧問	佐々木富市	S45A		
	顧問	渡辺守	S30C	顧問	小柴俊男	S34C	顧問	関口祐市	S48A			
	顧問	福地貞義	S31K	顧問	渡部修	H11M	顧問	金子徳吾	S36M			
顧問	浅沼美幸	S32T	坂下	顧問	佐藤政利	S24L	顧問	大竹忠好	S37M			
顧問	森俊夫	S35T		顧問	江川一正	S26E	建友会	顧問	青山昭一	S28A		
顧問	佐藤亘	S41K		顧問	大堀順一	S27C		顧問	小山源昭	S38A		
近畿	名誉会長	渡部藤雄		S31E	顧問	五十嵐一夫		S43A	顧問	弓田義秋	S39A	
	会長	大竹文夫	S31C	顧問	竹村福雄	S42C		顧問	梅宮久広	S40A		
				副会長			顧問	白井武男	S45A			
							顧問	河野政昭	S43A			

# 会工同窓会本部役員

平成28年9月現在

役職名	氏名	卒年	備考
顧問	吉田一栄	S20K	本部選出
会長	若狭春生	S38K	本部選出
筆頭副会長	藤田晴史	S40E	本部選出
副会長	田中健一	S42E	東京会工学生会長
"	渡部洋子	S32K	セラ友会会長
幹事長	木村洋一	S50K	本部選出
副幹事長	佐藤義之	S42M	本部選出
"	荒川富士雄	S43M	本部選出
"	浅田誠	S43E	若松会工学生会長
"	菊地壽雄	S48D	本部選出
幹事	江花光泰	S31L	本部選出
"	渡部昭寿	S34E	本部選出
"	斎藤四志男	S34K	本部選出
"	安藤昭男	S35T	本部選出
"	近藤信行	S40E	本部選出
"	長谷川利彦	S41K	本部選出
"	武田芳仁	S47M	本部選出
"	野中寿勝	S50E	本部選出
"	長尾好章	S50T	本部選出
"	佐藤満	S56A	本部選出
"	村澤智	S62E	本部選出
"	森田哲郎	S55M	本部選出
"	菅原正晴	S51A	本部選出
"	五十嵐雄一	S53K	本部選出
"	渡部優生	S55M	本部選出
"	渡部恵千子	H6D	本部選出
"	戸野部武彦	S40M	東京会工会幹事長
"	田勢光夫	S51A	本部選出
"	古川春樹	S41G	東海会工会事務局長
"	本名雄一	H13E	近畿会工会事務局長
"	藤沼嘉典	S32T	郡山会工会幹事長
"	梅宮昭	S39A	いわき会工会幹事長
"	星秀明	S40E	福島会工会幹事長
"	渡部正司	S47D	坂下会工会幹事長
"	長谷川与一	S40E	猪苗代会工会幹事長
"	小島淳一	S41E	本部選出
"	荒井誠一	S49A	会津美里会工会幹事長
"	白井達夫	S43E	電友会事務局長
"	菊地登貴雄	S52M	機友会幹事長
"	二瓶正人	S37K	セラ友会幹事長
"	儀同哲夫	S41L	美修会副会長
"	五十嵐隼夫	S26M	日立会工学生会長
"	高橋誠	S56M	三菱伸銅鶴友会会長

役職名	氏名	卒年	備考
幹事	大塚裕一郎	H3C	昭和電工会工学生会長
"	高橋伸幸	S51M	日曹金属化学会工学生会長
"	大竹純一	S56C	三菱伸銅会工学生会長
"	福井隆夫	S54E	東京電力パワーグリッド猪苗代電力所会工学生会長
会計	岩渕浩之	S54L	事務局
"	中丸淳	S55K	事務局
監事	佐野常雄	S31E	電友会会長
"	小山源昭	S38A	建友会会長
"	栗城和夫	S41M	機友会会長
参与	横山嘉夫	S26M	松江春次顕彰会会長
"	田中健一	S42E	東京会工学生会長
"	三井正春	S41A	東海会工学生会長
"	大竹文夫	S31C	近畿会工学生会長
"	浅田誠	S43E	若松会工学生会長
"	金田寛	S21M	郡山会工学生会長
"	二瓶嘉人	S39E	福島会工学生会長
"	星武	S27E	福島会工会前会長
"	大川原昌之	S28E	いわき会工学生会長
"	五十嵐一夫	S43A	坂下会工学生会長
"	山口一男	S37A	猪苗代会工学生会長
"	鈴木仁	S21M	西会津会工学生会長
"	菅沼章生	S29C	湯川会工学生会長
"	栗木俊昭	S45D	会津美里会工学生会長
"	小山源昭	S38A	建友会前会長
"	菊地良三	S37E	電友会前会長
"	栗城和夫	S41M	機友会会長
"	渡部洋子	S32K	セラ友会会長
"	曾根賢治	S36L	美修会会長
"	大堀順一	S27C	坂下会工学生会長
"	棚木武夫	S36E	電友会前会長
"	坂内茂男	S32K	前監事
"	関場一宏	S33K	前監事
事務局長	渡部哲	S52M	会津工業高校教職員
事務局会計	岩渕浩之	S54L	会津工業高校教職員
副事務局長	中丸淳	S55K	会津工業高校教職員
事務局	大濱達明	S55K	会津工業高校教職員
"	加藤義勝	S56L	会津工業高校教職員
"	菅家慶広	S56A	会津工業高校教職員
"	真田郁夫	S57E	会津工業高校教職員
"	小林毅史	H13M	会津工業高校教職員
"	菊地壽雄	S48D	会津工業高校教職員
"	山野敏	S49G	会津工業高校教職員



次回第111回総会は  
平成29年10月21日(土)に開催しますので、  
是非ご参加ください！



同窓会会報編集委員

荒川富士雄 (昭43M卒)  
江花光泰 (昭31L卒)  
渡部昭寿 (昭34E卒)  
田勢光夫 (昭51A卒)  
大濱達明 (昭55K卒)  
加藤義勝 (昭56L卒)  
山野敏 (昭49G卒)

同窓会会報編集委員

**編集後記**

今年も無事、会工同窓会報を発行できました事、原稿を寄せてくださった皆様へ感謝申し上げます。会報は、同窓会の現況、同窓生の活躍や現況などをお知らせするとともに、在校生の活躍や学校の様子などをお知らせしていきます。今後も会報の発行が継続していきますよう原稿と、協賛金の賛同をよろしくお願いいたします。